BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.11.29 作成

2023 年 11 月新聞書評に掲載された本

駅スタンプ大図鑑～解説付き戦前の印影コレクション～

田中 比呂之 著

世界文化社

戦前の熱狂的なブームがよみがえる! 昭和初期に雑誌『旅』で紹介された「駅スタンプ」を、関東から外地(樺太・台湾・朝鮮・満洲)まで 1400 点以上カラーで掲載し、解説を付す。蒐集家の蔵出しスタンプなどコラムも充実。

産経新聞 2023/11/05

2023:10./ 271p
978-4-418-23218-5
¥3,190〔税込〕

歴代天皇の御製集～九十五方の御歌を読む～

国民文化研究会 著

致知出版社

歴代の天皇は何を思われ、何を祈られてきたのか-。神武天皇から今上天皇まで歴代天皇の御製(御歌)約 270 首を、時代背景や歴史事象などとともにわかりやすく丁寧に解説。天皇系図や関係用語一覧も収録する。

産経新聞 2023/11/05

2023:9./ 297p
978-4-8009-1293-0
¥2,420〔税込〕

スポーツの日本史～遊戯・芸能・武術～(歴史文化ライブラリー　580)

谷釜　尋徳 著

吉川弘文館

日本スポーツのルーツ、相撲・蹴鞠・打毬。海外渡来の文化に改良を加え、日本独特の文化を生み出してきた歴史を、社会情勢や産業の発達とも絡めて考察。羽つき・踊り念仏も取り上げ、近代スポーツの到来までを見通す。

産経新聞 2023/11/05、東京・中日新聞 2023/11/19

2023:11./ 7p,207p
978-4-642-05980-0
¥1,870〔税込〕

バロック美術～西洋文化の爛熟～(中公新書　2776)

宮下規久朗 著

中央公論新社

豪華絢爛で躍動感あふれる表現を特徴とするバロックの建築・彫刻・絵画。美術史上の位置づけ、聖俗の権力がせめぎ合う時代背景など、バロック美術の本質を名作紹介とともにたどる。カラー写真も 200 点以上収録。

産経新聞 2023/11/05、日本経済新聞 2023/11/18

2023:10./ 9p,318p
978-4-12-102776-4
¥1,375〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 11 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp　Email: marketing@maruzen.co.jp

幽玄 F

佐藤 究 著
河出書房新社
少年は空を夢見、そして空へ羽ばたく。空を支配する重力・G に取り憑かれ、戦闘機 F-35-B を操る航空宇宙自衛隊員・易永透。日本・タイ・バングラデシュを舞台に描かれる、魂の垂直離陸。『文藝』掲載を単行本化。

産経新聞 2023/11/05、毎日新聞 2023/11/11

2023:10./ 328p
978-4-309-03138-5
¥1,870〔税込〕

文化外交の世界

桑名 映子 編
山川出版社
19 世紀〜21 世紀初頭の文化を通じた国際外交研究の論集。日本を含めイギリス、フランス、ドイツ、オーストリア、ハンガリーなど広範な範囲を網羅し、近代・現代の外交におけるソフト・パワーの重要性を文化の視点で論じる。

産経新聞 2023/11/05、毎日新聞 2023/11/25

2023:10./ 384p
978-4-634-67253-6
¥8,800〔税込〕

存在のすべてを

塩田　武士 著
朝日新聞出版
平成 3 年に発生した誘拐事件から 30 年。新聞記者の門田は旧知の刑事の死をきっかけに被害男児の「今」を知る。事件の真実を求め再取材を重ねた結果、ある写実画家の存在が浮かび上がり…。『週刊朝日』掲載を改題・加筆修正。

産経新聞 2023/11/12

2023:9./ 464p
978-4-02-251932-0
¥2,090〔税込〕

雑草学研究室の踏まれたら立ち上がらない面々

稲垣 栄洋 著
小学館
雑草にとって大切なのはタネを残すこと。だとしたら、踏まれても立ち上がるって、ムダなエネルギーを使っていると思わない? 農学部教授が、ライフワークである雑草と、不器用な教え子たちとの日々をつづる。

産経新聞 2023/11/12

2023:9./ 255p
978-4-09-389133-2
¥1,540〔税込〕

戦艦「大和」全記録

原勝洋 著
潮書房光人新社
計画、設計、建造工事の詳細、46 センチ砲のメカニズム、参加海戦の実相まで、日米双方の記録を読み解き、戦艦「大和」の生涯を詳細に綴る。「武蔵」「信濃」についても掲載。「戦艦「大和」全写真」の姉妹篇。

産経新聞 2023/11/12

2023:10./ 263p
978-4-7698-1703-1
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

楽園

粕谷栄市 著
思潮社
人生はふしぎだ。たとえば、私のように、治らない病気に罹って、深く眠りつづけると、ある日、思いがけなく、ほーほー鳥の楽園の島で目覚めることがあるのだ(「楽園」より) 『森羅』等掲載の散文詩 38 篇を収録。

産経新聞 2023/11/12

2023:10./ 161p
978-4-7837-4529-7
¥3,850〔税込〕

ヒューマン・ライツ(まひる野叢書 第 407 篇)

北山　あさひ 著
左右社
なんでわたしなんでヒューマン真夜中をひたむきに行くフェリーの灯り 部屋中の簞笥が硝子のビルになる大人になってまだ 3 分だ 2020 年後半から 2023 年 7 月頃までの作品を収めた、3 年ぶり渾身の第 2 歌集。

産経新聞 2023/11/12

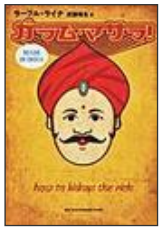
2023:11./ 133p
978-4-86528-399-0
¥1,980〔税込〕

証言 TBS ドラマ私史～1978-1993～

市川 哲夫 著
言視舎
元 TBS の辣腕プロデューサーが、70 年代から昭和の終わりにいたる時代の動きと、テレビドラマの舞台裏と人間模様を明かす。TBS『調査情報』誌連載を書籍化。

産経新聞 2023/11/12

2023:9./ 343p
978-4-86565-257-4
¥2,750〔税込〕



ガラム・マサラ!～MADE IN INDIA～

ラーフル・ライナ 著
文藝春秋
ニューデリーの教育コンサルタント・ラメッシュは替え玉受験で全国トップの成績をあげてしまう。受験不正がバレたら、待つのは破滅。しかし誘拐と報復誘拐の連鎖が開始され、騒動はラメッシュの予想を超える修羅場へ…。

産経新聞 2023/11/12、毎日新聞 2023/11/25

2023:10./ 382p
978-4-16-391771-9
¥2,420〔税込〕

小林秀雄の謎を解く～『考へるヒント』の精神史～(新潮選書)

苅部 直 著
新潮社
モーツァルトやベルクソンを論じていた批評の達人・小林秀雄は、なぜ徳川思想史に傾倒したのか。「考へるヒント」など、ベストセラーを読み直し、人間の知の根源をも探る試みであったことを明らかにする超刺激的論考。

産経新聞 2023/11/19

2023:10./ 302p
978-4-10-603902-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ケマル・アタテュルク～オスマン帝国の英雄、トルコ建国の父～(中公新書2774)

小笠原弘幸 著

中央公論新社

西欧列強からの脅威にさらされたオスマン帝国の救国の英雄として活躍し、トルコ共和国の大統領に就任。民族主義と世俗主義を掲げ、アタテュルク(父なるトルコ人)という姓を与えられた-。トルコ建国の父の実像を活写する。

産経新聞 2023/11/19

2023:10./ 4p,303p
978-4-12-102774-0
¥1,100〔税込〕

ロスト・イン・ザ・ターフ

馳 星周 著

文藝春秋

競馬バーを営む葵がパドックで一目ぼれした牡馬・ウララペツは、名馬メジロマックイーンの最後の世代の産駒。だが、ほどなく引退することに。葵はウララペツを買い取り種牡馬にしようとするが…。『オール讀物』連載を書籍化。

産経新聞 2023/11/19

2023:10./ 373p
978-4-16-391764-1
¥1,760〔税込〕

仏画の見方～決定版～

大原嘉豊 著

淡交社

日本美術の精華とされる「仏画」。近代の大コレクターたちが所有した、平安時代中・後期につくられた「藤原仏画」を中心に、名品とされる仏画の「名画である理由」をわかりやすく解説。仏画鑑賞の知恵を伝える。

産経新聞 2023/11/19

2023:11./ 111p
978-4-473-04564-5
¥3,850〔税込〕

侵略日記

アンドレイ・クルコフ 著

ホーム社

2022 年の新年を祝う日々、2 月 24 日のロシアによる侵攻、そして戦争が激化していく 7 月…。「ペンギンの憂鬱」の著者が、ウクライナに起きた出来事を観察し、戦時下を生々しく伝えるノンフィクション。

産経新聞 2023/11/19

2023:10./ 313p
978-4-8342-5375-7
¥2,970〔税込〕

あたらしい家中華～手軽あっさり毎日食べたい～

酒徒 著

マガジンハウス

鶏ガラやオイスターソース、豆板醤は不要! 野菜をたっぷり食べられる! 塩や醤油でシンプルに味付けする中華や、茹でる中華、煮る中華など、家で手軽に作れる本格中華料理のレシピを紹介する。

産経新聞 2023/11/19

2023:10./ 128p
978-4-8387-3251-7
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

人間の彼方

ユーリ・ツェー 著
東宣出版
コロナ禍のドイツ。コピーライターのドーラは、のどかな田園生活を夢見て小さな村に転居。だがひと筋縄ではいかない村人たちに振り回されることになり…。異なる境遇の相容れない人間との一風変わった交流と友愛を描く。

産経新聞 2023/11/19

2023:11./ 413p
978-4-88588-112-1
¥2,970〔税込〕

Q

呉 勝浩 著
小学館
清掃会社で働くハチは執行猶予中の身。ある日、血の繋がらない姉・ロクから連絡が入る。2 人の弟・キュウを脅す者が現れたというのだ。ダンスの天賦の才を持ち、華やかな表舞台で輝こうとする弟のため、ハチは…。

産経新聞 2023/11/26

2023:11./ 663p
978-4-09-386699-6
¥2,420〔税込〕

人生を抱きしめる～遠藤周作初期エッセイ～

遠藤 周作 著
河出書房新社
この世に生まれ、生きていく以上、人生を捨ててはいけない-。遠藤周作の原点となる信仰を軸に、自由や孤独、苦しみについての見解より、真の人間の姿にせまる若き日のエッセイ集。最初期の評論他、貴重な講演録も収録。

産経新聞 2023/11/26

2023:10./ 217p
978-4-309-03144-6
¥1,980〔税込〕

亀井勝一郎～言葉は精神の脈搏である～(ミネルヴァ日本評伝選)

山本　直人 著
ミネルヴァ書房
戦時期は美術批評と宗教論、戦後は文明批評を展開し、晩年は「日本人の精神史研究」に全力を注いで菊池寛賞を受賞した亀井勝一郎。“現代人の一標本”として歩んだ批評家の遍歴を、激動の時代精神とともにたどる。

産経新聞 2023/11/26

2023:10./ 498p
978-4-623-09645-9
¥4,180〔税込〕

清代北京の首都社会～食糧・火災・治安～

堀地 明 著
九州大学出版会
中国清王朝時代の首都・北京の都市史研究。水害救済と食糧流通、火災と消防組織、治安統治と戒厳体制の 3 つの領域から、清代北京の都市社会を考察し、北京首都社会における特質を解明。重層的都市空間と社会を活写する。

産経新聞 2023/11/26

2023:8./ 412p
978-4-7985-0354-7
¥8,580〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

クジラのまち太地を語る～移民、ゴンドウ、南氷洋～

赤嶺 淳 著
英明企画編集
「クジラのまち・太地」を愛し、誇りに思う 8 名の個人史を軸に、従来は語られてこなかった太地の姿を提示。多様な問題が複雑に絡まりあった“捕鯨問題群”に向きあい、広くオープンに語りあう環境の構築をめざす。

産経新聞 2023/11/26

2023:8./ 350p
978-4-909151-81-0
¥1,980〔税込〕

被害者家族と加害者家族 死刑をめぐる対話(岩波ブックレット No.1082)

原田 正治、松本 麗華 著
岩波書店
弟を殺害した死刑囚と面会し対話を続けてきた原田正治と、オウム真理教・教祖の娘だったため社会から排除されてきた松本麗華。事件に巻き込まれ差別や孤立を強いられてきた 2 人の対話から見える、この国の形とは。

朝日新聞 2023/11/04

2023:8./ 71p
978-4-00-271082-2
¥693〔税込〕

地の底の笑い話(岩波新書 青版 F-23)

上野 英信 著
岩波書店
ボタ山のふもとの納屋生活のあけくれ、また、一秒後の生命の保証もない坑内労働の合いま合いま、折にふれて老坑夫たちの語ってくれた、懐かしい笑い話。著者が生き生きと描き出す労働者像。

朝日新聞 2023/11/04

1979:1./ 194p
978-4-00-415023-7
¥1,100〔税込〕

二十四の瞳 改版(角川文庫)

壺井 栄 著
角川書店
昭和のはじめ、瀬戸内海の小島に赴任したばかりの大石先生と、個性豊かな 12 人の教え子たちによる人情味あふれる物語。戦争のもたらす不幸、貧しい者が常に虐げられることへの怒りを訴えた不朽の名作。

朝日新聞 2023/11/04

2007:6./ 249p
978-4-04-111311-0
¥396〔税込〕

残像(角川文庫 い 64-7)

伊岡 瞬 著
KADOKAWA
浪人生の堀部は、バイト先で倒れた葛城に付き添い、自宅アパートを訪れた。そこでは前科のある女性 3 人と小学生が共同生活を送っていた。一方、政治家の息子・吉井のもとに、かつて痛めつけた少年の写真が送られてきて…。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 491p
978-4-04-113722-2
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

海も暮れきる　新装版(講談社文庫　よ３-２６）

吉村 昭 著

講談社

自由律の作風で知られる漂泊の俳人・尾崎放哉は帝大を卒業し一流会社の要職にあったが、酒に溺れ職を辞し、美しい妻にも別れを告げ流浪の歳月を重ねた。最晩年、小豆島の土を踏んだ放哉が、ついに死を迎えるまでの激しく揺れる八ヵ月の日々を鮮烈に描く。

朝日新聞 2023/11/04

2011:5./ 338p
978-4-06-276974-7
¥792〔税込〕

「90 年代 J-POP の基本」がこの 100 枚でわかる!(星海社新書 273)

栗本 斉 著

星海社

日本の 90 年代は、あらゆる音楽ジャンルが渾然一体となってヒット作が続出した。90 年代に誕生したアルバム群のなかから時代を象徴する 100 枚を厳選し、丹念にレビューする。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 266p
978-4-06-529705-6
¥1,375〔税込〕

平和の国の島崎へ（1）(モーニング　KC)

濱田 轟天／瀬下 猛 著

講談社

幼少期に国際テロ組織 LEL に拉致され、戦闘工作員となった男・島崎真悟。30 年の時を経て組織からの脱出に成功した彼は、故郷である日本に帰ってくる。島崎は新天地で”平和”な暮らしを手にできるのか－

朝日新聞 2023/11/04

2022:12./ 200p
978-4-06-530080-0
¥748〔税込〕

平和の国の島崎へ（2）(モーニング　KC)

濱田 轟天／瀬下 猛 著

講談社

島崎真悟は組織を抜け出し、日本で平和な生活を手に入れようとしていた。そんな島崎の大切な居場所・喫茶店のルパソに現れたある男。男は店に嵐を呼び、ルパソの面々に脅威が迫る。

朝日新聞 2023/11/04

2023:3./ 192p
978-4-06-531121-9
¥715〔税込〕

平和の国の島崎へ（3）(モーニング　KC)

濱田 轟天／瀬下 猛 著

講談社

元戦闘工作員・島崎真悟は追っ手との戦闘で傷を負って帰還する。そんな彼に、束の間の日常が戻ってくる。飼い犬のたまきちを通じて隣人と出会い、カオリたちと洋服を買い、さらには着ぐるみに入ってショーに出演…!?

朝日新聞 2023/11/04

2023:8./ 192p
978-4-06-532412-7
¥759〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

トゥデイズ

長嶋 有 著
講談社
子育てのため、郊外にある大規模マンション「R グランハイツ」に引っ越してきた美春と恵示。築 50 年のマンションに集まり住む住人たちとともに、かけがえのない日々を重ねていく。『群像』『ことばと』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/11/04

2023:10./ 186p
978-4-06-533308-2
¥1,760〔税込〕

フェルナンド・ペソア伝～異名者たちの迷路～

澤田 直 著
集英社
70 もの人格を作り作品を書き分けた、ポルトガルの国民的詩人フェルナンド・ペソア。死後、公刊されたものの十数倍もの作品が書かれていたことが判明し、現在も刊行され続ける。この巨人の生涯と言葉を丹念にたどった評伝。

朝日新聞 2023/11/04

2023:8./ 491p
978-4-08-771823-2
¥3,080〔税込〕

海辺のカフカ<上>(新潮文庫)

村上 春樹 著
新潮社
朝日新聞 2023/11/04

2005:3./ 486p
978-4-10-100154-8
¥880〔税込〕

海辺のカフカ<下>(新潮文庫)

村上 春樹 著
新潮社
朝日新聞 2023/11/04

2005:3./ 528p
978-4-10-100155-5
¥935〔税込〕

孤宿の人<上>(新潮文庫)

宮部 みゆき 著
新潮社
朝日新聞 2023/11/04

2009:11./ 493p
978-4-10-136931-0
¥880〔税込〕

孤宿の人<下>(新潮文庫)

宮部 みゆき 著
新潮社
朝日新聞 2023/11/04

2009:11./ 520p
978-4-10-136932-7
¥880〔税込〕

八日目の蝉(中公文庫　か 61-3)

角田　光代 著
中央公論新社
朝日新聞 2023/11/04

2011:1./ 376p
978-4-12-205425-7
¥649〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

グレイラットの殺人(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 481-4)

M・W・クレイヴン 著
早川書房
強盗団が身元不明の遺体と鼠の置物を残して姿を消してから 3 年。ヘリコプター会社の社長が殺される。政府から捜査を命じられたポーだが、MI5 の妨害で捜査が進まない。二転三転する状況でポーが辿り着いた真実とは。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 729p
978-4-15-184254-2
¥1,430〔税込〕

見えないから、気づく(ハヤカワ新書 013)

浅川　智恵子／坂元　志歩 著
早川書房
14 歳で失明。ハンディキャップを越えアクセシビリティ技術を生み、日本女性初の全米発明家殿堂入り…。日本科学未来館館長と IBM 最高位の技術職を務める研究者が、自身の半生と発想の源泉を明かす。

朝日新聞 2023/11/04

2023:10./ 183p
978-4-15-340013-9
¥1,034〔税込〕

青春デンデケデケデケ(河出文庫)

芦原 すなお 著
河出書房新社
1965 年の夏休み、ラジオから流れるベンチャーズのギターがぼくを変えた。“やーっぱりロックでなけらいかん”－誰もが通過する青春の輝かしい季節を描いた痛快小説。文藝賞・直木賞受賞。映画化原作。

朝日新聞 2023/11/04

1992:10./ 225p
978-4-309-40352-6
¥660〔税込〕

バトル・ロワイアル<上>(幻冬舎文庫)

高見　広春 著
幻冬舎
西暦 1997 年、東洋の全体主義国家、大東亜共和国。城岩中学三年 B 組の七原秋也ら 42 人は、修学旅行バスごと無人の島へと拉致され、政府主催の殺人実験を強制される。生還できるのはたった一人。そのためにはただクラスメイト全員を殺害するのみ－。

朝日新聞 2023/11/04

2002:7./ 510p
978-4-344-40270-6
¥869〔税込〕

バトル・ロワイアル<下>(幻冬舎文庫)

高見　広春 著
幻冬舎
“死のゲーム”の開始後十八時間、混乱のうちに既にクラスメイトの半数が死亡していた。秋也は中川典子、転校生の川田章吾とともに政府への逆襲を誓うが、その前に殺人マシンと化した桐山和雄が立ちはだかる。

朝日新聞 2023/11/04

2002:7./ 485p
978-4-344-40271-3
¥869〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

死者宅の清掃～韓国の特殊清掃員がみた孤独死の記録～

キム・ワン 著
実業之日本社
彼らを死へと追いやったものは一体何だったのか。韓国で特殊清掃の会社を経営し、自身も清掃員として現場へ赴く著者が、孤独な死者たちの部屋に残された生前の痕跡を綴る。

朝日新聞 2023/11/04

2023:8./ 206p
978-4-408-65027-2
¥1,980〔税込〕

時空旅行者の砂時計(創元推理文庫 M ほ 3-1)

方丈 貴恵 著
東京創元社
妻の先祖・竜泉家の人々が殺害され、その後の土砂崩れで一族のほとんどが亡くなった「死野の惨劇」の真相の解明が、瀕死の妻の命を救う。1960 年にタイムトラベルした加茂は、閉ざされた館の中で起こる犯罪を暴けるのか!?

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 378p
978-4-488-49921-1
¥902〔税込〕

世界を翔ける翼～渡り鳥の壮大な旅～

スコット・ワイデンソール 著
化学同人
自然の壮大なドラマ、鳥の渡り。その実態を、いろいろな鳥の渡りの経路から、渡りをめぐるさまざまな行動や生態、生理、窮地に陥っている現状、それをめぐる人々の保全活動に至るまで、あますところなく伝える。

朝日新聞 2023/11/04

2023:8./ 5p,439p
978-4-7598-2098-0
¥4,180〔税込〕

「オウム死刑囚父の手記」と国家権力

高橋徹 著
現代書館
オウム真理教幹部だった井上嘉浩元死刑囚の父親の手記を通して、国家権力が国民の生命を奪う究極の刑罰・死刑制度の闇を暴く。テレビ朝日系列ドキュメンタリー番組をもとに書籍化。テキストデータ請求券付き。

朝日新聞 2023/11/04

2023:7./ 195p
978-4-7684-5944-7
¥2,200〔税込〕

杉森くんを殺すには(くもんの児童文学)

長谷川 まりる 著
くもん出版
親友の杉森くんを過量服薬による事故で亡くしたヒロ。人間性をとりもどすためにも、亡くなった杉森くんを「殺す」しかないと話すヒロに、大学生のミトさんはある助言をし…。大きな喪失から回復していく心の動きを描く。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 203p
978-4-7743-3483-7
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

暗やみに能面ひっそり

佐藤 まどか 著
ＢＬ出版
小 4 の宗太は夏休み、能面師の祖父の家で過ごすことになった。広くて古い家には、いろいろな表情の能面がかかっている。宗太も教わりながら能面を打つことになり…。本に登場する能面と能面師の世界を紹介する挟み込みあり。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 167p
978-4-7764-1104-8
¥1,760〔税込〕

昭和街場のはやり歌～戦後日本の希みと躓きと祈りと災いと～

前田　和男 著
彩流社
今日より明日がよくなるという成長神話はどう生まれ、なぜ頓挫したのか。1960 年代の政治の季節は何であったのか。歌とともに時代を共有した団塊世代が、エピソードを交え描く歌謡社会文化論。『RONZA』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/11/04

2023:8./ 285p
978-4-7791-2920-9
¥2,750〔税込〕

不機嫌な英語たち～What I Write About When I Write(Mostly)in Japanese～

吉原真里 著
晶文社
些細な日常が、波乱万丈。カリフォルニア・ニューイングランド・ハワイ・東京を飛び交う「ちょっといじわる」だった少女にとっての「真実」とは-。英語がもう一つの母語となった著者の半自伝的「私小説」。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 377p
978-4-7949-7381-8
¥1,980〔税込〕

ストーナー

ジョン・ウィリアムズ 著
作品社
ストーナーは、数々の苦難に見舞われつつも、運命をつねに静かに受け入れ、かぎられた条件のもとで可能なかぎりのことをして、黙々と働き、生きてゆく-。生きづらさを抱えた不器用な男の日常を温かなまなざしで描く長編小説。

朝日新聞 2023/11/04

2014:9./ 333p
978-4-86182-500-2
¥2,860〔税込〕

大辻清司実験室

大辻 清司 著
リブラ出版
大辻清司が自身の撮影行為を客観的に分析。写真を介した世界とのかかわり方、そこに現れる主観と客観についての根源的な問いを主題にした写真エッセイ。1975 年刊行の『アサヒカメラ』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 73p
978-4-86249-444-3
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ジダン研究

陣野俊史 著
カンゼン
フランスサッカーの体現者、ジネディーヌ・ジダン。ルーツであるカビリー文化の継承者、アルジェリア系選手の第 3 世代でもあるジダンを複数の文化の交錯する身体として捉え、彼自身や周囲の声とともにその内面世界に迫る。

朝日新聞 2023/11/04

2023:10./ 815p
978-4-86255-698-1
¥4,400〔税込〕

金は払う、冒険は愉快だ

川井俊夫 著
素粒社
とある古道具店主は、かつてインターネットで多くの読者を魅了した伝説のテキストサイトの著者だった-。アングラ商売、アルコール依存症、ホームレスなど破格の経歴を持つ著者の私小説。素粒社 note 連載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/11/04

2023:9./ 201p
978-4-910413-11-2
¥1,980〔税込〕

ガザの悲劇は終わっていない～パレスチナ・イスラエル社会に残した傷痕～(岩波ブックレット)

土井　敏邦 著
岩波書店
多くの民間人を含む１４００人以上の犠牲者を出したイスラエル軍のガザ攻撃。人間の尊厳を奪う“占領”の本質を、ガザやイスラエルの人々へのインタビューを通して浮かび上がらせる。

朝日新聞 2023/11/11

2009:7./ ６３ｐ
978-4-00-009462-7
¥627〔税込〕

うたうおばけ(講談社文庫 く 82-1)

くどう れいん 著
講談社
失恋してラーメン屋に喪服でやってきたミオ、「ビニニでもバナナ」と大発見したのんちゃんとゆーきちゃん…。個性的な「ともだち」との嘘みたいな本当の日々を綴った、東北の小さな歌人の傑作エッセイ集。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 196p
978-4-06-532877-4
¥682〔税込〕

#Z 世代的価値観

竹田 ダニエル 著
講談社
絶望的な世界に生まれた“Z 世代”が「愛」と「連帯」で価値観の革命を起こす! 生き方のニューノーマルを知るための前向きエッセイ。『群像』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2023/11/11

2023:9./ 204p
978-4-06-532945-0
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

自転車に乗る前に読む本～生理学データで読み解く「身体と自転車の科学」～(ブルーバックス B-2244)

髙石 鉄雄 著
講談社
自転車の活用法を応用生理学の視点から完全解説。運動強度、酸素摂取量、筋放電量、代謝系の応答など、さまざまな生理学データにもとづいて、身体・健康づくりへの効果的な自転車の乗り方を紹介する。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 190p
978-4-06-533711-0
¥1,100〔税込〕

天井のない監獄ガザの声を聴け!(集英社新書 0976)

清田　明宏 著
集英社
この 10 年で 3 度の戦争を経験しており、現在も「天井のない監獄」と世界で評されるガザ。UNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)の保健局長としての日々の活動から、そこに生きる市井の人々の生の声を届ける。

朝日新聞 2023/11/11

2019:5./ 189p
978-4-08-721076-7
¥968〔税込〕

素晴らしき世界～もう一度旅へ～(集英社文庫　よ 23-8)

吉田 修一 著
集英社
15 年にわたり続いた機内誌『翼の王国』連載の人気エッセイを書籍化。新元号、コロナ、「湖の女たち」や横道世之介シリーズの創作秘話など、人気作家が知られざる日常を綴る。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 164p
978-4-08-744576-3
¥583〔税込〕

いつかたこぶねになる日(新潮文庫　お-115-1)

小津 夜景 著
新潮社
杜甫や李賀、白居易といった古典から、新井白石や夏目漱石など日本の漢詩人たちの作品、中国近代の詩人まで、フランス在住の俳人・小津夜景が、漢詩のある日々の暮らしをつづる。

朝日新聞 2023/11/11

2023:11./ 254p
978-4-10-104721-8
¥693〔税込〕

日本で軍事を語るということ～軍事分析入門～

高橋杉雄 著
中央公論新社
ウクライナ侵攻が露わにした大国間大戦争時代の到来。中国の軍事力の近代化、北朝鮮の核・ミサイル開発。日本の安全保障環境が厳しさを増す中、日本は戦えるのか-。抑止力を強化し、戦争を防ぐために必要な軍事知識を説く。

朝日新聞 2023/11/11

2023:7./ 285p
978-4-12-005679-6
¥1,925〔税込〕

照子と瑠衣

井上荒野 著
祥伝社
照子と瑠衣。ともに 70 歳。妻を見下す夫を捨て、老人マンションの陰湿な人間関係を見限った。新天地に来て、ストレスのない暮らしを手に入れたふたりは、自分の人生を取り戻していき…。『コフレ』連載に加筆、訂正。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 216p
978-4-396-63651-7
¥1,760〔税込〕

風景をつくるごはん～都市と農村の真に幸せな関係とは～

真田純子 著
農山漁村文化協会
地方創生が喧伝されるが、なぜ中山間地の人たちばかりがんばらなくてはならないのか? 農村風景を入り口に、都市と農村が良好な関係であるための社会のシステムを考える。『土木技術』連載記事をもとに単行本化。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 284p
978-4-540-23124-7
¥2,200〔税込〕

励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<上>

伊藤 憲二 著
みすず書房
今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

朝日新聞 2023/11/11

2023:7./ 586p
978-4-622-09618-4
¥5,940〔税込〕

励起～仁科芳雄と日本の現代物理学～<下>

伊藤 憲二 著
みすず書房
今日の科学研究を支えるインフラとカルチャーはいかに築かれたのか。原子物理学の父・仁科芳雄の動きを軸に、日本における現代物理学の基盤創設の道のりを詳らかにし、それをグローバルな文脈に位置付ける。

朝日新聞 2023/11/11

2023:7./ 674p
978-4-622-09619-1
¥6,600〔税込〕

ぼくたちは見た～ガザ・サムニ家の子どもたち～

古居　みずえ 著
彩流社
多数の犠牲者を出したイスラエルのパレスチナ・ガザ地区への電撃攻撃。殺戮の現場を目撃した子どもたちの目線から戦争を描く。2011 年 8 月公開同名映画監督によるドキュメンタリー。

朝日新聞 2023/11/11

2011:8./ 202p
978-4-7791-1626-1
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ビジネス教養としての最新科学トピックス(インターナショナル新書 130)

茜 灯里 著
集英社インターナショナル
宇宙視点の SDGs、新型コロナのまとめと展望、ChatGPT の危険性…。原著論文をもとに現代科学の最新情報をわかりやすくコンパクトに解説する。全 29 本を収録。WEB サイト『ニューズウィーク日本版』連載を書籍化。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 221p
978-4-7976-8130-7
¥968〔税込〕

ユニバーサル・ミュージアムへのいざない～思考と実践のフィールドから～

広瀬浩二郎／ユニバーサル・ミュージアム研究会 著
三元社
「誰もが楽しめる」博物館・美術館に向けた実践を紹介。単なる障害者支援を超えた共生社会の未来像を、ミュージアムから提示する。内田樹との対談も収録。ジャケット袖にテキストデータ引換券付き。

朝日新聞 2023/11/11

2023:10./ 183p
978-4-88303-577-9
¥2,860〔税込〕

イーロン・マスク<上>

ウォルター・アイザックソン 著
文藝春秋
ペイパル(金融決済)、テスラ(電気自動車)、スペース X(宇宙開発)、そして X…。ときに軋轢を起こすも、テクノロジーで人類を進化させてきたイーロン・マスク。悩める天才の真の姿を赤裸々に描いた公式伝記。

朝日新聞 2023/11/11、日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 462p,13p
978-4-16-391730-6
¥2,420〔税込〕

イーロン・マスク<下>

ウォルター・アイザックソン 著
文藝春秋
ペイパル(金融決済)、テスラ(電気自動車)、スペース X(宇宙開発)、そして X…。ときに軋轢を起こすも、テクノロジーで人類を進化させてきたイーロン・マスク。悩める天才の真の姿を赤裸々に描いた公式伝記。

朝日新聞 2023/11/11、日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 449p,10p
978-4-16-391731-3
¥2,420〔税込〕

万物の黎明～人類史を根本からくつがえす～

デヴィッド・グレーバー／デヴィッド・ウェングロウ 著
光文社
人類の歴史は、これまで語られてきたものと異なり、遊び心と希望に満ちた可能性に溢れていた-。考古学・人類学の研究成果に基づき、閉塞感に包まれた現代社会に新たな可能性を提示する新・真・世界史。

朝日新聞 2023/11/11、毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 6p,643p,55p
978-4-334-10059-9
¥5,500〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

よもだ俳人子規の艶(朝日新書　924)

夏井いつき／奥田瑛二 著
朝日新聞出版
34 年の短い生涯で約 25000 もの俳句を残した正岡子規。ユーモアあり、反骨精神あり、ダンディズムあり。見つめるものをあるがままに切り取り、17 音で詠む子規の俳句を縦横無尽に読む、全三夜の子規トーク。

朝日新聞 2023/11/12

2023:9./ 191p
978-4-02-295230-1
¥935〔税込〕

訂正する力(朝日新書　926)

東浩紀 著
朝日新聞出版
日本にいま必要なのは「訂正する力」。保守とリベラルの対話にも、成熟した国のありかたや老いを肯定するためにも、さらにはビジネスにおける組織論、日本の思想や歴史理解にも役立つ、隠れた力を解き明かす。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 243p
978-4-02-295238-7
¥935〔税込〕

大河原邦男プロフェッショナルの 50 年～ヤッターメカ、ガンダムを生んだメカニックデザイナー～

大河原　邦男 著
KADOKAWA
メカニックデザイナーの先駆者・大河原邦男が、幼少期から現在までの歩みをインタビュー形式で振り返る。関連作品のメカの設定画を多数掲載し、幼い頃のプライベート写真や子ども時代の絵画も公開。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 216p
978-4-04-114171-7
¥1,760〔税込〕

ジャズ・アンバサダーズ～「アメリカ」の音楽外交史～(講談社選書メチエ 649)

齋藤 嘉臣 著
講談社
冷戦下、国務省はアメリカの優位性を発信すべく、最高のミュージシャンを「ジャズ大使」として世界各地に派遣した。熱い自由のリズムはやがて抵抗と連帯のパワーへと転じてゆく…。20 世紀後半の国際政治を音楽から探る。

朝日新聞 2023/11/18

2017:5./ 365p
978-4-06-258652-8
¥2,200〔税込〕

スペアタウン～つくろう自分だけの予備の街～<1>

清野 とおる 著
集英社
有事の際、迷わずスムーズに越せる&住める予備の街、スペアタウンさえあれば安心安全もう大丈夫! 池袋、蒲田、多摩センター、豊橋…漫画家・清野とおるがスペアタウンを探す。『UOMO』連載に描き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 166p
978-4-08-790142-9
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

路傍のフジイ(ビッグ コミックス)

鍋 倉夫 著

小学館

まだ誰の眼中にもない真ヒーロー、フジイ!職場では空気みたいな存在感の独身男性。なのに、その生き方は破格の格好良さ!コスパとかマウントとか承認欲求とか、そういうものの為に戦ってる人生が なんだかどうでもよくなってくる…

朝日新聞 2023/11/18

2023:11./ 192p
978-4-09-862542-0
¥715〔税込〕

実験の民主主義～トクヴィルの思想からデジタル、ファンダムへ～(中公新書 2773)

宇野重規／若林恵 著

中央公論新社

19 世紀の大転換期を生きたトクヴィルの思索と行動を手がかりに、実験的な民主主義像を描出。新技術が人々の想像力を変えた歴史を捉え、フランス革命・アメリカ建国後の政治史を解説し、AI 時代の社会像と人間像を探究する。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 8p,309p
978-4-12-102773-3
¥1,100〔税込〕

散華～紫式部の生涯～<上> 改版(中公文庫 す 3-32)

杉本苑子 著

中央公論新社

藤原氏の一門ながら無欲恬淡な漢学者の娘として生まれた小市は、幼い頃から並外れた才能を発揮し、自らの生きる道を模索していく…。永遠の名作「源氏物語」を紡ぎ出した紫式部の生の軌跡をたどる歴史大作。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 568p
978-4-12-207416-3
¥1,540〔税込〕

散華～紫式部の生涯～<下> 改版(中公文庫 す 3-33)

杉本苑子 著

中央公論新社

3 年に満たぬ結婚生活の末、夫と死別した小市は、「源氏物語」の執筆に没頭していき…。中宮彰子への出仕を経て、「宇治十帖」を書き終え、「源氏物語」を完結させた 30 代から晩年の紫式部を描く。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 498p
978-4-12-207417-0
¥1,430〔税込〕

踊る昭和歌謡～リズムからみる大衆音楽～(NHK 出版新書 454)

輪島 裕介 著

ＮＨＫ出版

戦前戦後のジャズに始まり、昭和 30 年代のマンボにドドンパ、ツイスト、はてはピンク・レディーからユーロビートまで、「踊る」大衆音楽の系譜を鮮やかに描く。英米中心のポップス史観を塗り変える、おどろきの文化論。

朝日新聞 2023/11/18

2015:2./ 270p
978-4-14-088454-6
¥902〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

戦争と人類(ハヤカワ新書 015)

グウィン・ダイヤー 著
早川書房
チンパンジーの群れの苛烈な殺し合いから、人類最初の戦争、ロシア・ウクライナ戦争まで。文明の進歩に伴って急速な変化を続けてきた戦争の歴史を凝縮。その発生と激化のメカニズムを解明し、廃絶のためのビジョンを示す。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 348p
978-4-15-340015-3
¥1,144〔税込〕

伊勢物語(河出文庫　古典新訳コレクション　か 42-1 02)

河出書房新社
「男がいた。元服したばかりの男だった」流麗な和歌とともに語られる、恋と友情、そして別離-。平安初期の仮名文学を代表する歌物語集「伊勢物語」が、作家・川上弘美による新訳で瑞々しくよみがえる。解題も収録。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 251p
978-4-309-41999-2
¥880〔税込〕

鬼棲むところ(光文社文庫　知らぬ火文庫 し 38-5)

朱川湊人 著
光文社
安義橋を渡る太郎暮房に、艶やかな髪と白い肌を持つ見目麗しい女が話しかけ…。「安義橋秘聞」をはじめ、鬼にまつわる説話を大胆に脚色した全 8 編を収録した、奇想と怪異の短編集。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 387p
978-4-334-10036-0
¥880〔税込〕

怪異と妖怪のメディア史～情報社会としての近世～(叢書パルマコン・ミクロス 05)

村上 紀夫 著
創元社
怪異とは、怪異とみなされた情報であり、メディアによって媒介され、史料に記録される。近世の都市を対象に、髪切り、一目連、石塔磨きなどの記録を博捜し、メディア史的手法で近世怪異の新たな相貌を描く。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 245p
978-4-422-70129-5
¥2,640〔税込〕

ザ・ベスト・オブ・バラード(ちくま文庫)

J・G・バラード 著
筑摩書房
ニューウエーブ旋風を巻きおこし、現代 SF 界の先駆となったバラードの自選短篇コレクション。「音を取りのける男」「強制収容都市」他。

朝日新聞 2023/11/18

1988:9./ 384p
978-4-480-02249-3
¥641〔税込〕

数学にはこんなマーベラスな役立て方や楽しみ方があるという話をあの人やこの人にディープに聞いてみた本<1>

数学セミナー編集部 編
日本評論社
各分野で活躍する人々が、数学との関わりや意外な使い方、楽しみ方など、「数学愛」を思う存分に語る。1 は、漫画家・高野文子、小説家・青柳碧人らのインタビューを収録。『数学セミナー』掲載等をもとに単行本化。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 163p
978-4-535-79005-6
¥1,980〔税込〕

数学にはこんなマーベラスな役立て方や楽しみ方があるという話をあの人やこの人にディープに聞いてみた本<2>

数学セミナー編集部 編
日本評論社
各分野で活躍する人々が、数学との関わりや意外な使い方、楽しみ方など、「数学愛」を思う存分に語る。2 は、ゲームクリエーター・山名学、棋士・広瀬章人らのインタビューを収録。『数学セミナー』掲載等をもとに単行本化。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 175p
978-4-535-79006-3
¥1,980〔税込〕

数学にはこんなマーベラスな役立て方や楽しみ方があるという話をあの人やこの人にディープに聞いてみた本<3>

数学セミナー編集部 編
日本評論社
各分野で活躍する人々が、数学との関わりや意外な使い方、楽しみ方など、「数学愛」を思う存分に語る。3 は、建築家・鳴川肇、住職・上山大信らのインタビューを収録。『数学セミナー』掲載をもとに単行本化。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 191p
978-4-535-79007-0
¥1,980〔税込〕

無人島ロワイヤル

秋吉理香子 著
双葉社
バーのマスターの「俺、無人島、持ってるよ」の一言で、8 人の常連たちは 3 つのアイテムを手に楽園を目指すことに。10 億円の賞金をめぐって、壮絶なサバイバルバトルが幕を開け…。『小説推理』連載に加筆、訂正し単行本化。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 261p
978-4-575-24683-4
¥1,815〔税込〕

避妊男子

ギヨーム・ドーダン／ステファン・ジョルダン 著
花伝社
男性主体の避妊方法を探し求めて取材の旅に出た、2 人の男性ジャーナリスト。そこで出会ったのは…。「性と生殖をめぐる責任」に、男性はいかにして主体的に関わることができるか。避妊をめぐる実践を描くバンド・デシネ。

朝日新聞 2023/11/18

2023:9./ 168p
978-4-7634-2080-0
¥1,980〔税込〕

射精責任

ガブリエル・スタンリー・ブレア 著
太田出版
中絶の 99%は望まない妊娠であり、その望まない妊娠のすべての原因が男性にある-。女性に避妊を期待しすぎている、養子縁組は中絶の代わりにはならないなど 28 の提言により、望まない妊娠による中絶を根本から問い直す。

朝日新聞 2023/11/18

2023:7./ 213p
978-4-7783-1878-9
¥2,200〔税込〕

デミウルゴス～途上の建築～

磯崎新 著
青土社
形象主義的思考が、実像と虚像、リアルな世界とイマジナリーな世界を架橋する-。常に建築の枠組みを超えて、時代や他領域を交錯する問題提起を生み出してきた、世界的建築家の思想的到達点。『現代思想』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 219p
978-4-7917-7582-8
¥2,640〔税込〕

インフルエンサーのママを告発します

ジェ・ソンウン 著
晶文社
インフルエンサーの母親を持つばかりに、いつも「ほんとうの自分」でいられないダルム。しかし、クラスメートのアラの言葉がダルムを変え…。SNS を使うすべての人必読のものがたり。

朝日新聞 2023/11/18

2023:6./ 139p
978-4-7949-7365-8
¥1,980〔税込〕

Wunderkammer

うつゆみこ 著
ふげん社
うつゆみこの「驚異の部屋」へようこそ! プリミティブな心の欲求をイノセントに表現した、14 年ぶりの新作写真集。190 点の作品を収録する。都築響一の寄稿等を掲載した Yaoyorozoo Paper 付き。

朝日新聞 2023/11/18

2023:10./ 192p
978-4-908955-24-2
¥6,820〔税込〕

新古事記～an impossible story～

村田 喜代子 著
講談社
太平洋戦争の最中、錚々たる科学者たちが続々と集結。秘密裏に進む原爆開発、施設内の出産ラッシュ、何も知らず家事と子育てに明け暮れる学者の妻たちの平穏な日々…。日系三世の数奇な物語。『群像』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2023/11/18、毎日新聞 2023/11/18

2023:8./ 349p
978-4-06-532683-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

推し短歌入門

榊原　紘 著
左右社
「推しへの気持ちをフックに短歌を作ってみよう」をテーマにした、オタクのための短歌入門書。「推し短歌会、やってみた!」やブックガイドも収録する。ゆにここカルチャースクールの講座をもとに書籍化。

朝日新聞 2023/11/19

2023:11./ 270p
978-4-86528-400-3
¥1,980〔税込〕

人類の深奥に秘められた記憶

モアメド・ムブガル・サール 著
集英社
1938 年に 1 冊の本でパリの文壇の話題をさらい、剽窃のかどで消えてしまったセネガル人作家エリマン。彼は一体何者だったのか? 現代のくすぶる若手小説家ジェガーヌが、その軌跡を追い求め…。

朝日新聞 2023/11/24

2023:10./ 476p
978-4-08-773525-3
¥3,630〔税込〕

神と黒蟹県

絲山 秋子 著
文藝春秋
日本のどこにでもあるような「地味県」の黒蟹県。そこで暮らす、そこを訪れる、名もなき人々や半知半能の神がすれ違いながら織りなす、かけがえなく、いとおしい日々を描く連作小説集。『文學界』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/11/24、産経新聞 2023/11/26

2023:11./ 232p
978-4-16-391775-7
¥1,980〔税込〕

久米宏です。～ニュースステーションはザ・ベストテンだった～(朝日文庫 く 30-1)

久米宏 著
朝日新聞出版
「土曜ワイドラジオ TOKYO」「ぴったしカン・カン」「料理天国」「ザ・ベストテン」そして「ニュースステーション」…。テレビを変えた男・久米宏が、メディア人生 50 年の舞台裏を語り明かす。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 333p
978-4-02-262084-2
¥990〔税込〕

武家か天皇か～中世の選択～(朝日選書　1038)

関幸彦 著
朝日新聞出版
内乱期・中世が胚胎させた 2 つの分立王朝「東西朝」と「南北朝」に、武家はどう対峙したか。12 世紀末と 14 世紀の 2 つの内乱期を取り上げ、当該期の天皇及び武家の実相について、「王威」「武威」をキーワードに検討する。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 254p
978-4-02-263123-7
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

マルクス解体～プロメテウスの夢とその先～

斎藤 幸平 著
講談社
資本主義に対する処方箋として、マルクスという古典からこれからの世の中に必要な理論を提示。マルクスの物質代謝論、エコロジー論、プロメテウス主義の批判から、未来への希望を託す脱成長コミュニズム論までを精緻に語る。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 409p
978-4-06-531831-7
¥2,970〔税込〕

世界史の中の戦国大名(講談社現代新書 2723)

鹿毛 敏夫 著
講談社
海に出たらやりたい放題!? 「王」を名乗って勝手に外交!? 中国へ、アジアへ、欧州へ海外進出した野心溢れる戦国大名たちの新たな貌を、グローバルヒストリーの視点から探る。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 317p
978-4-06-533218-4
¥1,210〔税込〕

列

中村 文則 著
講談社
ある動物の研究者である「私」はいつのまにか「列」に並んでいた-。先が見えず、最後尾も見えない。だれもが互いを疑い、時に軽蔑し、羨んでいる。この現実に生きる私達に救いは訪れるのだろうか。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 157p
978-4-06-533339-6
¥1,540〔税込〕

デパートの誕生(講談社学術文庫 2792)

鹿島 茂 著
講談社
豪華絢爛。お客は恍惚。欲望に火を付ける巨大空間-。19 世紀半ば、圧巻の施策を次々と繰り広げた世界最大の百貨店「ボン・マルシェ」。その壮大な成功譚を古書や仏文学作品から採取し、第二次王政復古後のパリを活写する。

朝日新聞 2023/11/25

2023:11./ 277p
978-4-06-533965-7
¥1,221〔税込〕

ゆうやけにとけていく

ザ・キャビンカンパニー 著
小学館
ジャングルジムで遊ぶ男の子、悔しくて石を蹴る女の子、買い物帰りの親子…。それぞれのいろいろな感情を、夕焼けがやさしく包み込む。ページをめくる度に少しずつ沈んでいく太陽が印象的な、ノスタルジックな雰囲気の絵本。

朝日新聞 2023/11/25

2023:7./ 31p
978-4-09-725229-0
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ヒトは生成 AI とセックスできるか～人工知能とロボットの性愛未来学～

ケイト・デヴリン 著
新潮社
ChatGPT に恋したらどうなるのか。性欲を定義してロボットに実装できるのか。スマートセックストイの利用情報は誰のものか。セックスロボットが広まるとヒトはどうなるのか-。最先端の知見を盛り込んだ刺激的思考実験。

朝日新聞 2023/11/25

2023:9./ 316p
978-4-10-507361-9
¥2,310〔税込〕

ジェンダー格差～実証経済学は何を語るか～(中公新書 2768)

牧野百恵 著
中央公論新社
歴史・文化・社会的に形成される男女の差異=ジェンダー。実証経済学の成果から就業、教育、歴史、結婚、出産など様々な事柄を取り上げ、格差による影響や解消後の可能性について、国際的視点から描く。

朝日新聞 2023/11/25

2023:8./ 4p,230p
978-4-12-102768-9
¥990〔税込〕

発達障害に生まれて～自閉症児と母の 17 年～(中公文庫　ま 45-2)

松永正訓 著
中央公論新社
幼児教育のプロとして活躍する母が自閉症の息子を授かり、世間一般の「理想の子育て」から自由になっていく軌跡を描いたルポルタージュ。その後の息子と母の物語を新たに増補した文庫版。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 293p
978-4-12-207434-7
¥968〔税込〕

関東大震災朝鮮人虐殺の真相～地域から読み解く～

関原正裕 著
新日本出版社
関東大震災時に起きた朝鮮人虐殺事件。主にさいたま市見沼区染谷で起こった事件を扱い、虐殺の引き金になった県の「移牒」、異例の恩赦などを解説。戦後社会における調査・追悼、日本人の加害責任の自覚についても検討する。

朝日新聞 2023/11/25

2023:7./ 197p
978-4-406-06759-1
¥1,980〔税込〕

関東大震災と民衆犯罪～立件された一一四件の記録から～(筑摩選書　0262)

佐藤 冬樹 著
筑摩書房
関東大震災直後から多発した、自警団による朝鮮人、中国人らに対する襲撃事件。検察が立件、起訴した 600 人以上の被告、約 90 人の日本人被害者のプロフィールを分析するなどして、民衆犯罪の全貌に迫る。

朝日新聞 2023/11/25

2023:8./ 300p,14p
978-4-480-01780-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

リサーチのはじめかた～「きみの問い」を見つけ、育て、伝える方法～

トーマス・S・マラニー／クリストファー・レア／安原 和見 著
筑摩書房
最もむずかしいのは、リサーチをはじめる前の段階だ-。スタンフォード大教授らが、18 年かけて磨きあげたリサーチの極意を紹介。自身の研究課題を発見し、実際に研究プロジェクトを立ち上げるまでの具体的方法を解説する。

朝日新聞 2023/11/25

2023:8./ 331p
978-4-480-83725-7
¥2,200〔税込〕

神

フェルディナント・フォン・シーラッハ 著
東京創元社
医師に自死の幇助を求める元建築家の老人。彼に致死薬を与えるべきか。法学、医学、神学から参考人を招き、公開討論会で究極の議論が始まり…。医師による自死の幇助の是非について観客が投票する緊迫の戯曲。

朝日新聞 2023/11/25

2023:9./ 167p
978-4-488-01129-1
¥1,870〔税込〕

ロシア・ウクライナ戦争～歴史・民族・政治から考える～

塩川　伸明 編
松里　公孝／大串　敦／浜　由樹子／遠藤　誠治 著
東京堂出版
古代ルーシの歴史、民族と宗教、歴史の記憶をめぐる戦い、ウクライナ独立後の国内政治、冷戦後の国際安全保障の問題…。各分野を代表する第一線の研究者が、ロシア・ウクライナ戦争の背景を読み解く。

朝日新聞 2023/11/25

2023:9./ 367p
978-4-490-21091-0
¥4,180〔税込〕

紫式部 女房たちの宮廷生活(平凡社新書　1042)

福家　俊幸 著
平凡社
宮廷サロンはどのような場か、女房とはどのような存在か。「源氏物語」の作者紫式部を中心に、日記や家集の記録から、その生涯や宮廷生活、物語創作など、宮仕えの女房たちの実像を描き出す。

朝日新聞 2023/11/25

2023:11./ 262p
978-4-582-86042-9
¥1,078〔税込〕

サンタクロースは空飛ぶ宅配便ではありません

市川　宣子 著
ポプラ社
本物のサンタクロースが行方不明なので、クリスマス本部から 100 万人めのサンタクロースに指名された小学 4 年生の三太くん。トナカイのルドルフに乗って空を飛び、子どもたちにプレゼントを届けることになりますが…。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 126p
978-4-591-17979-6
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

フェミニスト経済学～経済社会をジェンダーでとらえる～

長田 華子／金井 郁／古沢 希代子 編
有斐閣
フェミニズムの視点から経済学をとらえたフェミニスト経済学のテキスト。万人を差別や抑圧から解放し、1 人ひとりの権利を保障することで、万人のウェルビーイングの向上をめざす。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 13p,298p
978-4-641-16620-2
¥4,070〔税込〕

「はい」「いいえ」ほうこく

浜田桂子 著
理論社
子どもたちから大事な報告があります。気持ちよく毎日を過ごすために、安心して大きくなるために「はい」…「いるもの」と「いいえ」…「いらないもの」があるんです。この世が「大好き」と「嬉しい」で溢れるように願う絵本。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 31p
978-4-652-20583-9
¥1,650〔税込〕

聞き書き・関東大震災

森 まゆみ 著
亜紀書房
1923 年 9 月 1 日に起きた関東大震災。著者が地域雑誌『谷根千』をはじめたころ、町にはまだ震災を体験した人びとが多くいた。それらの声とその界隈に住んでいた文学者らの日記等の膨大な資料を繙き、大震災を振り返る。

朝日新聞 2023/11/25

2023:8./ 339p
978-4-7505-1809-1
¥2,200〔税込〕

いつかきっと

アマンダ・ゴーマン 著
あすなろ書房
孤独、嘆き、あきらめに疑問をもって現状を変えたいと思う男の子。その信念が、友だちの協力を得て、まわりを少しずつ変える力になっていき…。バイデン大統領の就任式で自作の詩を朗読した詩人による絵本。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 37p
978-4-7515-3126-6
¥1,650〔税込〕

宮本常一<抵抗>の民俗学～地方からの叛逆～

門田岳久 著
慶應義塾大学出版会
ポスト高度経済成長期の日本で疲弊する離島の人びとに寄り添い、彼らの自立を促すために奔走した宮本常一。たんなる民俗学者ではなく、地方の代弁者として活動した思想の核心に迫る。

朝日新聞 2023/11/25

2023:8./ 392p,26p
978-4-7664-2903-9
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

クリスマスマーケット～ちいさなクロのおはなし～(日本傑作絵本シリーズ)

降矢なな 著
福音館書店
12 月、街のクリスマスマーケットのツリーの下に子犬が捨てられていた。子犬はクロと名づけられ、マーケットでみんなの人気者に。ある日、なーちゃんがぬいぐるみの犬スノゥを連れてやってくると、クロはスノゥが気になり…。

朝日新聞 2023/11/25

2023:10./ 39p
978-4-8340-8739-0
¥1,650〔税込〕

神奈川の関東大震災～100 年後の視点～

藤田 賀久／鈴木 晶／小川 輝光 著
えにし書房
関東大震災から 100 年。神奈川の被害の実態、隠された史実、朝鮮人虐殺に至る経緯などを明らかにし、現在も残る震災の痕跡を多くの地図・写真を交えて紹介。歴史の中の個人という存在に目を向けるための手がかりを示す。

朝日新聞 2023/11/25

2023:8./ 188p
978-4-86722-121-1
¥2,200〔税込〕

災害と外国人犯罪流言～関東大震災から東日本大震災まで～

郭 基煥 著
松籟社
非常事態下では、外国人を犯罪や反社会的行為の主体とする噂が発生する。関東大震災から東日本大震災までを取り上げ、児童の作文、新聞報道、住民アンケートから、外国人犯罪流言の百年にわたる系譜とメカニズムを読み解く。

朝日新聞 2023/11/25

2023:9./ 396p
978-4-87984-442-2
¥3,080〔税込〕

一生に一度は行きたい世界の美しい書店・図書館(TJ MOOK)

宝島社
フレスコ画麗しき白亜の修道院図書館、空間の魔術師が設計した“空中図書館”…。一生に一度は訪れてみたい各国の美しい図書館や書店を、選り抜きの写真で紹介。歴史と見どころがわかる解説つき。

東京・中日新聞 2023/11/04

2023:9./ 111p
978-4-299-04614-7
¥1,540〔税込〕

箱根駅伝に魅せられて(角川新書　K-434)

生島　淳 著
KADOKAWA
テレビ中継の世帯視聴率は 30%前後を誇り、国民的行事となっている箱根駅伝。その歴史の中で数々の名勝負が繰り広げられ、スター選手や名監督が生まれてきた。45 年以上箱根駅伝を追い続けてきた著者が、その魅力を紐解く。

東京・中日新聞 2023/11/05

2023:10./ 237p
978-4-04-082467-3
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

スーフィズムとは何か～イスラーム神秘主義の修行道～(集英社新書　1177)

山本 直輝 著
集英社
「イスラーム神秘主義」とも訳され、イスラームを味わうことを究極目的とするスーフィズム。思想、修行法から、食、武術、音楽をも射程におさめ、よく生きるための「実践の道」としてのスーフィズムを解説する。

東京・中日新聞 2023/11/05

2023:8./ 222p
978-4-08-721277-8
¥1,144〔税込〕

サハラの水～正田昭作品集～

川村　湊 編
正田　昭 著
インパクト出版会
「死」に直面する絶対的(絶望的)状況の中で、人は何を考え、何をするのか-。死刑囚作家・正田昭が生前に発表した表題作など小説の全編と、死後に残された遺稿類から選んだ作品を収録する。

東京・中日新聞 2023/11/05

2023:8./ 299p
978-4-7554-0335-4
¥3,300〔税込〕

それは丘の上から始まった～1923 年横浜の朝鮮人・中国人虐殺～

加藤 直樹 編
後藤 周 著
ころから
マグニチュード 7.9、火災旋風、略奪の横行、囚人解放…。丘の上に逃れた人びとから発せられた流言が、行政や軍の動きと乱反射し虐殺へと至った 1923 年 9 月の横浜-。関東大震災時の朝鮮人・中国人虐殺の発火点を描く。

東京・中日新聞 2023/11/05

2023:9./ 267p
978-4-907239-69-5
¥1,980〔税込〕

特攻服少女と 1825 日

比嘉 健二 著
小学館
バブルの狂乱を尻目に、進むべき道を探して特攻服で街をさまよう少女たち。彼女たちに寄り添った伝説の雑誌を舞台に、スリルと熱に満ちた青春の日々を振り返る。当時の誌面を飾った人気レディースたちの「その後」も描く。

東京・中日新聞 2023/11/12

2023:7./ 255p
978-4-09-389122-6
¥1,650〔税込〕

リスペクト

ブレイディみかこ 著
筑摩書房
ホームレス・シェルターに住んでいたシングルマザーたちが理不尽な理由で退去を迫られた。女性たちは連帯して立ち上がり…。2014 年にロンドンで実際に起きた占拠事件をモデルとした小説。『ちくま』連載に加筆。

東京・中日新聞 2023/11/12

2023:8./ 273p
978-4-480-81573-6
¥1,595〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

美術泥棒(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ　4-14)

マイケル・フィンケル 著
亜紀書房
若くして手を染めた美術品窃盗の道。使う道具はスイス製アーミー・ナイフ 1 本。屋根裏部屋に消えた 3000 億円とも言われる美術品群。そのあまりに華麗な手口と狂気的な美への執着を暴く。

東京・中日新聞 2023/11/12

2023:9./ 294p
978-4-7505-1816-9
¥2,860〔税込〕

マルクスの名言力～パンチラインで読むマルクス入門～(犀の教室)

田上孝一 著
晶文社
マルクスの言葉の力を体感できる、結論から読む最速のマルクス入門書。膨大なマルクスの文章の中から、彼の思想的核心を示す言葉 20 節を切り取り、その意図するところを深掘りして解説する。

東京・中日新聞 2023/11/12

2023:9./ 293p
978-4-7949-7382-5
¥2,090〔税込〕

風と雅の帝

荒山 徹 著
ＰＨＰ研究所
鎌倉時代後期、量仁(のちの光厳天皇)は持明院統の期待を背負って即位したが、前帝・後醍醐によって即位そのものを否定される。その後、足利尊氏に擁立されるも、尊氏の裏切りによって南朝の囚われの身に…。

東京・中日新聞 2023/11/18

2023:9./ 409p
978-4-569-85550-9
¥2,530〔税込〕

エヴァーグリーン・ゲーム

石井　仁蔵 著
ポプラ社
世界有数の頭脳スポーツでありながら、日本ではまだ競技人口の少ないチェス。その魅力にとりつかれた、4 人の若者たち。彼らは、己のすべてをかけて盤上の戦いに挑む。命懸けの勝負の行方は-!?

東京・中日新聞 2023/11/18

2023:10./ 361p
978-4-591-17943-7
¥1,870〔税込〕

顔面放談

姫野 カオルコ 著
集英社
独自の小説世界を織り成しつづける姫野カオルコは稀代の「顔マニア」でもあった!姫野カオルコの並々ならぬ観察眼が炸裂する捧腹絶倒のマニアック・エッセイ。『青春と読書』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/11/19

2023:9./ 233p
978-4-08-788088-5
¥1,760〔税込〕

北支宣撫官～日中戦争の残響～

太田 出 著
えにし書房
1937 年、中国天津に誕生した(北支)宣撫官は、軍事占領後に民衆の生活上の問題を解決する任務ゆえに、軍の意向と正面から衝突し、戦後も葛藤し苦悩し続けた。笠実を中心に中心人物らの足跡を辿り、その実像に迫る。

東京・中日新聞 2023/11/19

2023:10./ 290p
978-4-86722-122-8
¥2,970〔税込〕

自閉症が 30 歳の僕に教えてくれたこと

東田　直樹 著
KADOKAWA
自分らしく生きたい-。会話のできない重度の自閉症である著者が、日常の中で感じたことや考えたことを綴る。30 歳のときに発信したツイートを中心に、エッセイや詩も加えて書籍化。

東京・中日新聞 2023/11/25

2023:8./ 164p
978-4-04-400774-4
¥1,485〔税込〕

自閉症は津軽弁を話さないリターンズ～「ひとの気持ちがわかる」のメカニズム～(角川ソフィア文庫 L129-2)

松本　敏治 著
KADOKAWA
自閉スペクトラム症(ASD)の方言使用について調査し、「自閉症児は方言を話さない」ことを証明した。それから数年後、方言を話すようになった自閉症児が現れ…。ことばの不思議から ASD を捉えなおすノンフィクション。

東京・中日新聞 2023/11/25

2023:8./ 269p
978-4-04-400781-2
¥1,100〔税込〕

野火、奔る(「弥勒」シリーズ　12)

あさのあつこ 著
光文社
ニヒルな同心・木暮信次郎と、元刺客の商人・遠野屋清之介。「遠野屋」を次々と襲う不穏な動き、血の臭い、底なしの闇…。炙り出される真実とは? 『小説宝石』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/11/25

2023:10./ 365p
978-4-334-10094-0
¥1,870〔税込〕

一人一殺～血盟団事件・首謀者の自伝～

井上 日召 著
河出書房新社
真理を求め、大陸浪人となった青年時代から、昭和戦前の恐慌、農村の疲弊、政財官軍の無力を憂え、一人一殺主義による「革命」を目論んだ血盟団事件に及ぶ井上日召の自伝。戦後 GHQ によって発禁となった書の復刊。

東京・中日新聞 2023/11/26

2023:9./ 355p
978-4-309-03133-0
¥3,960〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

本の背骨が最後に残る

斜線堂有紀 著
光文社
物語を語る者が「本」と呼ばれる国。1 冊につき 1 つの物語だが、稀に同じ本に異同が生じると、どちらかが「誤植」と断じられ「焚書」される-。表題作のほか、全 7 編を収録。新鋭作家が凶暴な想像力で紡いだ、絢爛甘美な物語。

東京・中日新聞 2023/11/26

2023:9./ 276p
978-4-334-10051-3
¥1,870〔税込〕

はたちの時代～60 年代と私～

重信 房子 著
太田出版
こんな生き方は私の予定にはなかった。だけど、仲間と共に在る-。22 年ぶりに出所した元日本赤軍闘士・重信房子が綴った青春記。半世紀以上前の、はたちの時代の自身や仲間たちの戦いをふりかえる。

東京・中日新聞 2023/11/26

2023:6./ 447p
978-4-7783-1869-7
¥2,860〔税込〕

シンデレラはどこへ行ったのか～少女小説と『ジェイン・エア』～(岩波新書　新赤版 1989)

廣野 由美子 著
岩波書店
「赤毛のアン」等の王子様を待たない強く生きる女性主人公の物語はいつ生まれ、どう広がっていったのか。英国の古典的名作「ジェイン・エア」から始まる脱シンデレラ物語の作品群を読み解き、現代における物語の意味を問う。

読売新聞 2023/11/05

2023:9./ 228p
978-4-00-431989-4
¥1,034〔税込〕

ナルニア国物語～新訳～<1> ライオンと魔女と洋服だんす(角川文庫 ル 5-1)

C・S・ルイス 著
KADOKAWA
田舎に預けられた 4 人の兄妹。ある日末っ子のルーシーが大きな洋服だんすを見つけ、扉を開くとそこは残酷な魔女が支配する国ナルニアだった! 4 人は聖なるライオン“アスラン”と共に魔女に戦いを挑むが…。

読売新聞 2023/11/05

2020:8./ 214p
978-4-04-109248-4
¥649〔税込〕

貝に続く場所にて(講談社文庫 い 156-1)

石沢 麻依 著
講談社
ドイツの学術都市に暮らす私の元に、2011 年 3 月の震災で行方不明になったはずの友人が現れる。コロナ禍が影を落とす異国の街に、9 年前の光景が重なり合い…。静謐な祈りをこめて描く鎮魂の物語。

読売新聞 2023/11/05

2023:9./ 234p
978-4-06-532681-7
¥704〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

教室のゴルディロックスゾーン

こざわ たまこ 著
小学館
中学校のクラスに馴染めず妄想の世界に逃げがちな依子。彼女が頼れるのは父、愛犬、たった一人の友人・さきだけ。しかしクラス替えをして新しい友達ができたさきは、依子を避けるようになり…。『きらら』連載を加筆・修正。

読売新聞 2023/11/05

2023:7./ 281p
978-4-09-386673-6
¥1,870〔税込〕

心は孤独な狩人(新潮文庫　マ-31-1)

カーソン・マッカラーズ 著
新潮社
1930 年代末、アメリカ南部の町に聾唖の男が現れた。大不況、経済格差、黒人差別…。カフェに集う人々の苦しみを、その男だけがいつも静かに受け止めてくれて-。南部ゴシック文学を代表する名作を村上春樹が新訳。

読売新聞 2023/11/05

2023:10./ 606p
978-4-10-204203-8
¥1,155〔税込〕

ちょっと不運なほうが生活は楽しい

田中 卓志 著
新潮社
どこかの優しい誰かが読んでくれたら…。人気芸人「アンガールズ」田中卓志が、クスリと笑えて妙に共感できる悲喜こもごもの日常を綴った初エッセイ集。『小説新潮』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2023/11/05

2023:8./ 217p
978-4-10-355281-9
¥1,595〔税込〕

ルポ誰が国語力を殺すのか

石井 光太 著
文藝春秋
子供たちの国語力が失われているのはなぜなのか。「ごんぎつね」の読めない小学生、反省文の書けない高校生などの具体例を挙げながら、言葉を失った子供たちの実態と、国語力回復の道筋を描く渾身のルポ。

読売新聞 2023/11/05

2022:7./ 330p
978-4-16-391575-3
¥1,760〔税込〕

仁義なきヤクザ映画史～1910-2023～

伊藤 彰彦 著
文藝春秋
日本映画は「アウトロー」を如何に描いてきたのか? 関係者へのインタビューを通してヤクザ映画 100 年余の修羅に踏み込み、「暴力の近現代史」を描き出す。『文藝春秋』連載に大幅加筆、書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2023/11/05

2023:8./ 309p
978-4-16-391735-1
¥2,365〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

千年の祈り(河出文庫　リ 4-3)

イーユン・リー 著
河出書房新社
父と娘のあいだに横たわる秘密と、人生の黄昏にある男女の情愛。ミス・カサブランカとよばれる独身教師の埋めようのない心の穴。反対を押し切って結婚した従兄妹同士の絆…。人生の細部にあらわれる普遍的真実を描く短篇集。

読売新聞 2023/11/05

2023:10./ 303p
978-4-309-46791-7
¥1,210〔税込〕

文豪たちの「九月一日」～関東大震災百年～

石井正己 著
清水書院
未曾有の激震から 100 年。芥川龍之介、与謝野晶子、山本有三、北原白秋、谷崎潤一郎…。文豪たちは関東大震災をどう見たのか? 絶望、凶気、怒り、再生の記憶を刻んだ彼らの 32 作品を収録する。

読売新聞 2023/11/05

2023:7./ 246p 図版 14p
978-4-389-50151-8
¥1,650〔税込〕

ChatGPT 時代の文系 AI 人材になる～AI を操る 7 つのチカラ～

野口 竜司 著
東洋経済新報社
ChatGPT が引き起こした知的生産革命にどう対応するのか? ChatGPT の仕組みや使い方、ChatGPT 時代に必要となる知識・スキルを体系的に解説。最新の AI 事例も多数収録する。

読売新聞 2023/11/05

2023:10./ 365p
978-4-492-04739-2
¥1,760〔税込〕

聖霊の舌～異端モンタノス派の滅亡史～

ウィリアム・タバニー 著
平凡社
憑依した「炎の舌」が語る預言はまやかしか。初期キリスト教にあって、三位一体と教会一元化を進める主流派(正統派)から疎まれ、異端として排除されたモンタノス派の歴史を、著者が発見した碑文の読解を基礎として辿る。

読売新聞 2023/11/05

2023:9./ 724p
978-4-582-71726-6
¥9,900〔税込〕

中国の死神

大谷 亨 著
青弓社
民間信仰の鬼神である中国の死神「無常」。フィールドワークに基づきながら、無常の歴史的な変遷をたどり、妖怪から神へと上り詰めたそのプロセスや、背景にある民間信仰の原理を明らかにする。カラー図版も多数収録。

読売新聞 2023/11/05

2023:7./ 187p
978-4-7872-2099-8
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

イングランド銀行公式経済がよくわかる 10 章

イングランド銀行 著
すばる舎
食べたい朝ごはんを選べるのはなぜ? 経済学は気候変動問題を解決できる? どうすれば賃金は上がる? タンス預金が好ましくない理由は? そもそもお金って何? シンプルな質問から経済学の基本を紐解く入門書。

読売新聞 2023/11/05

2023:8./ 433p,24p
978-4-7991-1152-9
¥1,980〔税込〕

厄除け詩集～対訳～

井伏 鱒二 著
田畑書店
“ハナニアラシノタトヘモアルゾ 「サヨナラ」ダケガ人生ダ”の一節で有名な井伏鱒二の「厄除け詩集」を没後 30 年を期して完全英訳。詩魂を十全に汲み取った英訳で、ユーモアとペーソスに満ちた井伏鱒二の詩行を楽しめる。

読売新聞 2023/11/05

2023:7./ 179p
978-4-8038-0418-8
¥1,650〔税込〕

趣味の ChatGPT～超初心者&IT に馴染めない「大人」に贈る～

酒井 麻里子 著
理工図書
超初心者&IT に馴染めない「大人」に向けて、ChatGPT をやさしく解説。使い方のノウハウだけでなく、AI の基礎知識、技術的なしくみ、生成 AI をとりまく世の中の動きや課題、文章以外の生成 AI なども紹介する。

読売新聞 2023/11/05

2023:8./ 7p,181p
978-4-8446-0931-5
¥1,760〔税込〕

芝居の面白さ、教えます～井上ひさしの戯曲講座～<日本編>

井上 ひさし 著
作品社
敬愛する戯曲家の伝記的事実、演劇史の解説、演出の仕方、せりふの一言一句への詳細な解釈…。井上ひさしが、真山青果、宮沢賢治などを取り上げ、芝居に関する蘊蓄・愛情を縦横に語った、未発表の戯曲講座。

読売新聞 2023/11/05

2023:7./ 277p
978-4-86182-988-8
¥2,970〔税込〕

訂正可能性の哲学(ゲンロン叢書 014)

東 浩紀 著
ゲンロン
「正しさ」の時代に、誤ることの価値を考える。伝統的な哲学を新たに読み替え、ビッグデータからこぼれ落ちる「私」の固有性をすくい出す。「観光客の哲学」をさらに先に進める、著者 30 年の到達点。

読売新聞 2023/11/05

2023:8./ 359p
978-4-907188-50-4
¥2,860〔税込〕

十六の言葉

ナヴァー・エブラーヒーミー 著
駒井組
イランで生まれ、ドイツで育った女性とその母、祖母は、「正義」と「繁栄」と「信仰」を目標に掲げた革命に翻弄され…。彼女たちの生き方を通して、愛憎愛半ばするイスラーム文化圏とヨーロッパ文化圏の人の有り様を描く。

読売新聞 2023/11/05

2023:9./ 284p
978-4-911110-00-3
¥2,420〔税込〕

ワクチン開発と戦争犯罪～インドネシア破傷風事件の真相～

倉沢 愛子、松村 高夫 著
岩波書店
1944 年 8 月、ジャカルタの収容所で、ワクチンを接種した「ロームシャ」が破傷風により多数死亡した。伝染性のない破傷風患者が、なぜ大量発生したのか。日本軍のワクチン戦略がもたらした悲劇の真相を明らかにする。

読売新聞 2023/11/12

2023:3./ 274p
978-4-00-061585-3
¥2,530〔税込〕

君を恋ふらん～源氏物語アンソロジー～(角川文庫 時-さ 86-12)

末國 善己／田辺 聖子／瀬戸内 寂聴／永井 路子／森谷 明子／澤田 瞳子／永井 紗耶子 著
KADOKAWA
源氏の君の養女はお転婆娘で…。田辺聖子「やんちゃ姫玉かつらの巻」をはじめ、瀬戸内寂聴、永井路子、森谷明子ら、歴史小説の名手たちが織りなす、美麗なるアンソロジー。永井紗耶子の書下ろし短編も収録する。

読売新聞 2023/11/12

2023:10./ 280p
978-4-04-113877-9
¥814〔税込〕

窓ぎわのトットちゃん<続>

黒柳 徹子 著
講談社
東京大空襲の数日後、青森を目指して、ひとり夜行列車に乗ったトットを待ち受けていた試練とは? NHK の専属女優になりたての、トットが救われた一言とは? 「窓ぎわのトットちゃん」、42 年ぶりの続編。

読売新聞 2023/11/12

2023:10./ 253p
978-4-06-529671-4
¥1,650〔税込〕

寂聴源氏物語

瀬戸内 寂聴 著
講談社
光源氏の誕生から、さまざまな女性たちと出会い、数奇な運命を経てこの世を去るまでの物語をたどれるよう、瀬戸内寂聴の現代語訳「源氏物語」全 10 巻を 1 冊に再構成。解説、あらすじ、主要人物紹介、主要人物系図付き。

読売新聞 2023/11/12

2023:11./ 492p
978-4-06-533649-6
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

わたしに会いたい

西 加奈子 著
集英社
グラビアアイドルの露は、乳がんのため G カップの乳房を全摘出して…「あらわ」など、全 8 編を収録。「わたし」の体と生きづらさを見つめる短編小説集。『すばる』『文藝』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

読売新聞 2023/11/12

2023:11./ 219p
978-4-08-771849-2
¥1,540〔税込〕

負けくらべ

志水 辰夫 著
小学館
ギフテッドであり、内閣情報調査室に協力する顔を持つ初老の介護士・三谷孝。IT 起業家・大河内牟禮は、そんな三谷に惹かれ、ふたりの交流が始まるが…。『STORY BOX』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2023/11/12

2023:10./ 333p
978-4-09-386695-8
¥2,200〔税込〕

ボッコちゃん　改版(新潮文庫)

星 新一 著
新潮社

読売新聞 2023/11/12

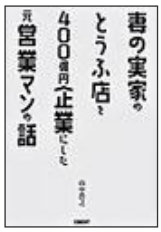
1988:1./ 315p
978-4-10-109801-2
¥737〔税込〕

熱源(文春文庫　か 80-2)

川越 宗一 著
文藝春秋
日本人にされそうになったアイヌと、ロシア人にされそうになったポーランド人。文明を押し付けられ、同化政策によりアイデンティティをも揺るがされた二人の<熱>と<軌跡>を描く、冒険歴史小説。

読売新聞 2023/11/12

2022:7./ 490p
978-4-16-791902-3
¥902〔税込〕



妻の実家のとうふ店を 400 億円企業にした元営業マンの話

山中 浩之 著
日経ＢＰ社
営業にも、工場にも、前年比や利益率などの、数値目標がない。群馬県の豆腐メーカー「相模屋食料」が失われた 20 年で売上高 23 億円から 400 億円に急成長した理由を、元営業マンである社長が語る。

読売新聞 2023/11/12

2023:10./ 311p
978-4-296-20326-0
¥1,870〔税込〕

植物誌(河出文庫　さ 48-1)

佐藤 達夫 著
河出書房新社
法制局長官、人事院総裁など多忙な公務の傍ら、植物研究家として活躍し、多くのエッセイやボタニカルアートを遺した佐藤達夫。草花 102 種への愛をあたたかな文章と繊細な絵で綴った名著を文庫化。市川春子のエッセイも収録。

読売新聞 2023/11/12

2023:9./ 241p
978-4-309-41990-9
¥990〔税込〕

星を見る人～日本語、どん底からの反転～

恩田 侑布子 著
春秋社
ことばの手ざわり、肌ざわりに誘われ、情感の深みへ。芭蕉、井筒俊彦、草間彌生…。絶滅危惧種となった風合いある表現に、ゆらぎ、渦巻き、なりかわる、こころ・からだ・いのち-。俳人による五感を震わせる評論を収録。

読売新聞 2023/11/12

2023:9./ 3p,249p
978-4-393-44424-5
¥2,640〔税込〕

静寂の技法～最良の人生を導く「静けさ」の力～

ジャスティン・ゾルン／リー・マルツ 著
東洋経済新報社
心の静けさ、何かに没入する経験、人生の指針を失いがちな私たちが、大切な静寂を得るための実践的な指南書。聴覚騒音、情報騒音、内部騒音という 3 つの騒音を静め、調和や真実、本当の自分にたどり着くための方法を紹介する。

読売新聞 2023/11/12

2023:9./ 11p,442p,16p
978-4-492-04746-0
¥2,860〔税込〕

白の服飾史～人はなぜ「白」を着るのか～

ニーナ・エドワーズ 著
原書房
清浄で純粋だと重宝されながら、非実用的だと避けられてきた白。ワイシャツ、下着、産着、ウェディングドレス、喪服、白衣、修道服など、白い服がまとう特別な意味を図版とともにたどる。

読売新聞 2023/11/12

2023:8./ 266p
978-4-562-07336-8
¥3,960〔税込〕

左利きの言い分～右利きと左利きが共感する社会へ～(PHP 新書　1367)

大路 直哉 著
ＰＨＰ研究所
右利きへの矯正が行われてきた理由は? 「左利きは右脳型」説は本当? 左利きの苦難の歴史と現状を解説するとともに、左利きが暮らしやすい社会を生むための取り組みを紹介。左利きの著名人のエピソードも語る。

読売新聞 2023/11/12

2023:9./ 274p
978-4-569-85553-0
¥1,210〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「食」が動かした人類 250 万年史(PHP 新書　1366)

新谷 隆史 著
ＰＨＰ研究所
あらゆる動物のなかで、もっとも食べ物を美味しく食べられるように進化してきたヒト。作物の不作による西ローマ帝国の滅亡、じゃがいも飢饉らによる後のバイデン大統領の誕生など、食が動かした人類史を明らかにする。

読売新聞 2023/11/12

2023:9./ 286p
978-4-569-85562-2
¥1,210〔税込〕

科学技術の軍事利用～人工知能兵器、兵士の強化改造、人体実験の是非を問う～(平凡社新書　1032)

櫛島　次郎 著
平凡社
古今東西、つねに不可分のものとして発展してきた科学・技術と軍事開発。「軍民両用」ははたしてどこまで許されるべきなのか。科学・技術と軍事の結びつきの歴史をたどり、最先端の課題を生命倫理の第一人者と考える。

読売新聞 2023/11/12

2023:7./ 207p
978-4-582-86032-0
¥1,034〔税込〕

科学革命の構造 新版

トマス・S・クーン 著
みすず書房
「通常科学」から「危機」へ、そして、新しい「パラダイム」へ。科学と世界の見方を変えたクーンの描像を、21 世紀的な解像度で丹念に翻訳。イアン・ハッキングによる手引きを巻頭に収録する。

読売新聞 2023/11/12

2023:6./ 51p,321p,10p
978-4-622-09612-2
¥3,300〔税込〕

楽園の犬

岩井 圭也 著
角川春樹事務所
英語教師をしていた麻田。日本海軍のスパイという密命を帯び、太平洋戦争勃発直前のサイパンに降り立った。世の中が戦争に突き進もうとする時、人はどこまで自分でいられるのか。『ランティエ』連載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/11/12

2023:9./ 401p
978-4-7584-1447-0
¥1,980〔税込〕

家をセルフでビルドしたい～大工経験ゼロの俺が 3LDK 夢のマイホームを 6 年かけて建てた話～(草思社文庫　さ 6-1)

阪口 克 著
草思社
自分の家を自分で建てる-。大工経験ゼロで無謀な夢へ突進した、アラフォーカメラマンの 6 年にわたる悪戦苦闘セルフビルドの記録。定点観測写真、嫁のひとりごと、建築費用も掲載。加筆修正・写真増補し文庫化。

読売新聞 2023/11/12

2023:10./ 381p
978-4-7942-2686-0
¥1,078〔税込〕

ガイアに向き合う～新気候体制を生きるための八つのレクチャー～

ブルーノ・ラトゥール 著
新評論
気候危機は西洋型近代の英知のみでは乗り越えられない-。生命が居住する地上の薄膜=「ガイア」に向き合う重要性を解き明かす。「虚構の「近代」」著者がテレストリアルとしての人類に託した最後の理論書。

読売新聞 2023/11/12

2023:8./ 492p
978-4-7948-1242-1
¥5,940〔税込〕

太郎の嫁の物語

三浦暁子 著
ビジネス社
結婚してからずっと、私は夫とその家族に驚き続けていた。実家とはあまりにも違うタイプの家族を前に、何度も息をのみ…。三浦朱門・曽野綾子夫妻のひとり息子・太郎に嫁いだ著者が、婚家の人々との思い出を綴る。

読売新聞 2023/11/12

2023:6./ 254p
978-4-8284-2520-7
¥1,760〔税込〕

世界の図書館を巡る～進化する叡智の神殿～

gestalten 編
マール社
現存する世界最古の図書館では貴重な写本のデジタル化が進められ、荘厳な修道院建築の図書館では結婚式が開かれる…。時代とともに進化する世界の図書館を写真で紹介。見た目の美しさだけにとどまらない図書館の魅力を伝える。

読売新聞 2023/11/12

2023:8./ 295p
978-4-8373-0695-5
¥3,960〔税込〕

小さな民からの発想～顔のない豊かさを問う～

村井吉敬 著
めこん
誰のため、何のための「開発」か。開発が民衆の多様な生活の営みを破壊し、創意と自立性を失わしめ、犠牲を強いている事例を挙げながら「開発」「工業化」とその延長線上に見えるものを問い直す。写真や註、解説を加えて復刻。

読売新聞 2023/11/12

2023:8./ 323p
978-4-8396-0335-9
¥2,200〔税込〕

高学歴難民(講談社現代新書 2722)

阿部 恭子 著
講談社
月 10 万円の困窮生活、振り込め詐欺や万引きに手を染める、ロースクールを経て「ヒモ」、教育費 2000 万円かけたのに無職…。生活苦に直面し、社会から孤立している高学歴者の悲惨な実態を明かす。

読売新聞 2023/11/19

2023:10./ 188p
978-4-06-533086-9
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

創造論者 vs.無神論者～宗教と科学の百年戦争～(講談社選書メチエ　790)

岡本 亮輔 著
講談社
宗教と科学の長い戦争、なかでも創造論者と無神論者の戦いは、21 世紀に入ってますます過熱している。おもに欧米で激しく展開する両者の戦いに密着し、信念をぶつけ合う人間たちのドラマを描き出す。

読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 267p
978-4-06-533247-4
¥1,980〔税込〕

ヒカルの碁<1>(集英社文庫　お 55-8)

小畑 健／ほった ゆみ 著
集英社
小学 6 年生の進藤ヒカルは、蔵で古い碁盤を見つける。その瞬間、平安時代の天才棋士、藤原佐為が現れた。囲碁を愛する佐為に動かされてヒカルは囲碁教室に通い始める。しかし初心者の少年が佐為の実力で打つ手は、行く先々で混乱を呼ぶ。

読売新聞 2023/11/19

2012:2./ 376p
978-4-08-619328-3
¥836〔税込〕

ババア最高!～+60 歳からの HAPPY おしゃれ～(集英社文庫　し 62-6)

地曳 いく子／槇村 さとる 著
集英社
愛ある毒舌でおしゃれと人生を一刀両断! スタイリスト・地曳いく子とおしゃれ大好き漫画家・槇村さとるの最強コンビが、還暦越えの大人のおしゃれの極意を披露する。

読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 183p
978-4-08-744568-8
¥550〔税込〕

将棋カメラマン～大山康晴から藤井聡太まで「名棋士の素顔」～(小学館新書　459)

弦巻 勝 著
小学館
巨人・大山康晴の超ワンマン伝説、記録を塗り替える藤井聡太の問いかけ…。半世紀にわたり将棋界で写真を撮り続けたカメラマンが、個性豊かなスター棋士たちの素顔と逸話を写真と併せて紹介する。羽生善治との対談も収録。

読売新聞 2023/11/19

2023:10./ 237p
978-4-09-825459-0
¥1,320〔税込〕

思い出すこと(CREST BOOKS)

ジュンパ・ラヒリ 著
新潮社
ローマの家具付きアパートで見つけた「ネリーナのノート」には、ラヒリによく似た謎の女性による詩の草稿が残されていた。彼女の詩に惹きつけられたラヒリは、友人である研究者マッジョに編纂を託し…。かつてない自伝的作品。

読売新聞 2023/11/19

2023:8./ 221p
978-4-10-590190-5
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

人類がたどってきた道～“文化の多様化”の起源を探る～(NHK ブックス)

海部　陽介 著
ＮＨＫ出版
ホモ・サピエンスのアフリカにおける進化、5 万年前に始まった祖先たちの世界拡散という人類最大のドラマを、最新の研究成果に基づいて描出。人間の由来と、多様な地域文化の成立を解き明かす。

読売新聞 2023/11/19

2005:4./ 332p
978-4-14-091028-3
¥1,320〔税込〕

気候崩壊後の人類大移動

ガイア・ヴィンス 著
河出書房新社
東京は亜熱帯化し、サハラ砂漠はヨーロッパまで拡大し、ニューヨークは水没する…。まもなくやってくる、10 億人以上が移住を迫られる時代。しかし、まだ希望は残っている! 最新データで衝撃の近未来を描く。

読売新聞 2023/11/19

2023:8./ 298p,18p
978-4-309-25461-6
¥2,970〔税込〕

資本主義と不自由(河出文庫　み 34-1)

水野 和夫 著
河出書房新社
2014 年 9 月～2015 年 1 月に東洋英和女学院大学大学院で講義した内容をもとに書籍化した「水野史観」を加筆し文庫化。合理主義の限界、エネルギーの枯渇…。もう終わらせなくてはならない資本主義の正体に迫る。

読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 237p
978-4-309-41989-3
¥990〔税込〕

詐欺師入門～騙しの天才たち、その華麗なる手口～(光文社未来ライブラリー M モ-1-1)

デイヴィッド・W・モラー 著
光文社
旅行者の持ち金を騙し取る<ショート・コン>から、舞台装置のように複雑で、地元警察への根回しまで仕組まれた<ビッグ・コン>まで、信用詐欺の様々な手口を紹介する。映画「スティング」のネタ本としても知られる名著。

読売新聞 2023/11/19

2023:10./ 429p
978-4-334-10087-2
¥1,540〔税込〕

ルポ高学歴発達障害(ちくま新書　1756)

姫野 桂 著
筑摩書房
エリートなのに仕事ができない-。高学歴でありながら発達障害を抱える人が少なからず存在し、彼らはイメージと実情の狭間で葛藤する。理解が得られにくい不条理に自身も発達障害者である著者が、当事者への取材を通じて迫る。

読売新聞 2023/11/19

2023:10./ 186p
978-4-480-07582-6
¥924〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

見るだけでわかる微分・積分(PHP 新書　1368)

冨島 佑允 著

ＰＨＰ研究所

数学が苦手でもすらすら読める微分・積分入門。微分・積分とは何かから、微分・積分の数式や記号、微分・積分が生んだ現代社会を支える発明・技術まで、図やイラストを多用してわかりやすく解説する。

読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 193p
978-4-569-85555-4
¥1,056〔税込〕

浮世絵でみる!動物図鑑

パイインターナショナル

動物大好きな江戸時代。猫、犬、金魚、兎をはじめ、虎、象、ラクダ、孔雀、オウムから、空想の珍獣まで。歌麿・広重・北斎・国貞・国芳・芳年らの描いた浮世絵 160 点以上を紹介する。解説文は英文併記。

読売新聞 2023/11/19

2023:8./ 223p
978-4-7562-5771-0
¥2,640〔税込〕

なぜ世界はそう見えるのか～主観と知覚の科学～

デニス・プロフィット／ドレイク・ベアー 著

白揚社

全員が同意する「客観的な世界」は存在しない。なぜ同じものを見ても、人によって捉え方が異なるのか? <身体化された認知>分野のパイオニアと熟練ライターが、事実の認識にズレを生む「知覚」の正体に迫る。

読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 319p
978-4-8269-0251-9
¥3,410〔税込〕

グリューネヴァルト<イーゼンハイム祭壇画>への誘い～ドイツ美術の至宝とその画家の生涯～

大杉千尋 著

教育評論社

有名な「キリスト磔刑」を含む複数のパネルから構成される多翼祭壇画<イーゼンハイム祭壇画>。美術の巨匠・グリューネヴァルトが描いたこの作品を、パネルごとに詳説する。グリューネヴァルトの画業と生涯も紹介。

読売新聞 2023/11/19

2023:8./ 310p
978-4-86624-085-5
¥5,170〔税込〕

素晴らしき自転車レース

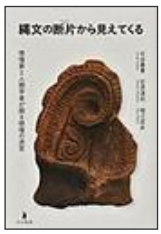
谷口　和久 著

未知谷

鍛え抜かれた選手たちが最新鋭の機材にまたがり、美しい風景の中を疾走していく自転車レース。レースやスターにまつわる歴史に残る良い話など、自転車を巡るイタリアのエッセイ。日本イタリア会館の会報誌連載記事を書籍化。

読売新聞 2023/11/19

2023:8./ 253p
978-4-89642-697-7
¥2,750〔税込〕



縄文の断片から見えてくる～修復家と人類学者が探る修復の迷宮～

古谷 嘉章／石原 道知／堀江 武史 著
古小烏舎
土の中から破片が発掘され、修復され、展示されるまでには、いくつもの厄介な問題が存在する。欠損の意味、修復箇所の判別、復元してわかること見えなくなるもの…。考古遺物・考古学に潜む迷宮を人類学者と修復家が探究する。

読売新聞 2023/11/19、毎日新聞 2023/11/25

2023:8./ 243p
978-4-910036-04-5
¥2,200〔税込〕

偽りなきコントの世界

岩崎　う大／中村　計 著
KADOKAWA
東京03、ロバート、バイきんぐ、さらば青春の光…。賞レースのネタ批評が的確すぎるかもめんたる・岩崎う大が、キングオブコント歴代決勝ネタを徹底解剖。そのお笑い論を初めて明かす。

読売新聞 2023/11/26

2023:8./ 223p
978-4-04-113200-5
¥1,650〔税込〕

人はどう老いるのか(講談社現代新書 2724)

久坂部 羊 著
講談社
老いの現実を知る、医療への幻想を捨てる、健康情報に踊らされない、あきらめが幸せを生む…。老いたときに慌てふためかないよう、現場を知る医師がうまく老いるコツを本音で語る。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 234p
978-4-06-533693-9
¥1,012〔税込〕

黒い福音　改版(新潮文庫)

松本 清張 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

2004:6./ 669p
978-4-10-110913-8
¥1,100〔税込〕

点と線　改版(新潮文庫)

松本 清張 著
新潮社
九州博多付近の海岸で発生した、一見完璧に近い動機づけを持つ心中事件、その裏にひそむ恐るべき奸計!汚職事件にからんだ複雑な背景と、殺害時刻に容疑者は北海道にいたという鉄壁のアリバイの前に立ちすくむ捜査陣……。

読売新聞 2023/11/26

2003:5./ 262p
978-4-10-110918-3
¥605〔税込〕

砂の器<上>　改版(新潮文庫　ま-1-24)

松本 清張 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

2006:10./ 462p
978-4-10-110924-4
¥825〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

砂の器<下>　改版(新潮文庫　ま-1-25)

松本 清張 著
新潮社
人間は背負った宿命から逃れることはできない。善良この上ない元巡査を殺害した犯人は誰か?そして前衛劇団の俳優と女事務員殺しの犯人は?

読売新聞 2023/11/26

2006:10./ 506p
978-4-10-110925-1
¥990〔税込〕

黒革の手帖<上>　改版(新潮文庫　ま-1-47)

松本　清張 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

2008:12./ 377p
978-4-10-110953-4
¥693〔税込〕

黒革の手帖<下>　改版(新潮文庫　ま-1-48)

松本　清張 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

2008:12./ 386p
978-4-10-110954-1
¥693〔税込〕

雁の寺・越前竹人形　改版(新潮文庫　み-7-3)

水上 勉 著
新潮社
乞食女の捨て子として惨めな日々を送ってきた少年僧慈念の、殺人にいたる鬱積した孤独な怨念の凝集を見詰める「雁の寺」と、はかない愛の姿を越前の竹林を背景に描く「越前竹人形」。水上勉の代表的名作 2 編を収める。

読売新聞 2023/11/26

2012:12./ 341p
978-4-10-114103-9
¥693〔税込〕

土を喰う日々～わが精進十二ヵ月～(新潮文庫)

水上 勉 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

1982:8./ 235p
978-4-10-114115-2
¥693〔税込〕

飢餓海峡<上>改版(新潮文庫 み-7-24)

水上 勉 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

2011:11./ 511p
978-4-10-114124-4
¥990〔税込〕

飢餓海峡<下>改版(新潮文庫 み-7-25)

水上 勉 著
新潮社
読売新聞 2023/11/26

2011:11./ 498p
978-4-10-114125-1
¥880〔税込〕

神様には負けられない(新潮文庫　や-65-3)

山本 幸久 著
新潮社
25 歳で会社をやめ、ゼロから義肢装具士を目指すさえ子。実習に、恋に、悪戦苦闘する中、「ほんとのバリアフリー」と未来の自分が少しずつ見え始め…。再スタートを応援するお仕事小説。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 405p
978-4-10-135883-3
¥825〔税込〕

JR は生まれ変われるか～国鉄改革の功罪～

読売新聞経済部 著
中央公論新社
国鉄改革から 30 余年を経た今、JR は官と民の狭間で苦悶を続けている。人口減少、廃線ラッシュ、コロナの傷痕と JR7 社はどのように向き合い、いかに乗り越えようとしているのか取材する。『読売新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 284p
978-4-12-005699-4
¥1,980〔税込〕

化かしもの～戦国謀将奇譚～

簑輪 諒 著
文藝春秋
乱世は謎に満ちている-。援軍なしに上杉を退ける信玄の秘策を描く「川中島を、もう一度」を始め、乱世で繰り広げられる腹の探り合いを切れ味鋭く描いた 7 編を収録。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

読売新聞 2023/11/26

2023:8./ 300p
978-4-16-391741-2
¥2,090〔税込〕

鬼平犯科帳<1> 決定版(文春文庫 い 4-101)

池波 正太郎 著
文藝春秋
斬り捨て御免の権限を持つ幕府の火付盗賊改方の長官・長谷川平蔵。義理と人情とユーモアを心得た江戸のヒーローの活躍を描く。1 は、「啞の十蔵」「老盗の夢」など全 8 編を収録。デザインの異なる 2 種類のジャケット付き。

読売新聞 2023/11/26

2016:12./ 372p
978-4-16-790763-1
¥825〔税込〕

精選女性随筆集 森茉莉 吉屋信子(文春文庫　編 22-2)

小池 真理子 編
森 茉莉、吉屋 信子 著
文藝春秋
近現代の輝かしい女性作家の随筆を精選した本格的アンソロジー。父・鷗外に愛され、豊かな想像力と鋭い批評性を兼ね備えた森茉莉、少女小説の大家・吉屋信子。同時代を生きた、対照的なふたりの随筆作品を収録する。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 273p
978-4-16-792120-0
¥1,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

寄せ場のグルメ

中原　一歩 著
潮出版社
山谷の酒場と鰻、川崎の大衆食堂、横浜の市民酒場、深川のめしや…。巨大都市・東京の周縁で労働者が集まる「寄せ場」を訪ね歩き、飲み食いを重ねながら、人間の「生」を活写する。『潮』連載を加筆修正。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 286p
978-4-267-02384-2
¥1,980〔税込〕

死に山～世界一不気味な遭難事故《ディアトロフ峠事件》の真相～(河出文庫　ア 13-1)

ドニー・アイカー 著
河出書房新社
学生登山家 9 名が凄惨な死に様で発見された、冷戦下ソヴィエト・ウラル山脈で起きた遭難事故「ディアトロフ峠事件」。原因は雪崩か吹雪か、あるいは衝撃波か? 世界的未解決遭難怪死事件の全貌と真相に迫るノンフィクション。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 401p
978-4-309-46792-4
¥1,210〔税込〕

法教育の教え方と学び方～クリティカル・シンキングのすすめ～

コリン・シール 著
弘文堂
リーガル・マインドの中核であるクリティカル・シンキング(批判的・分析的思考)を用いた法教育の普及活動を全米で行う著者が、クリティカル・シンキングを小・中学校、高校で生徒に教えるための枠組みを具体的に提供する。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 12p,252p
978-4-335-35959-0
¥2,530〔税込〕

ヒトラーの馬を奪還せよ～美術探偵、ナチ地下世界を往く～

アルテュール・ブラント／安原 和見 著
筑摩書房
戦火で失われたはずのヒトラーゆかりの逸品が、70 年の時をへて闇市場に現れた。本物か贋作か? 黒幕は何者か? 暗躍するナチ残党との息詰まる駆け引きを描くノンフィクション。

読売新聞 2023/11/26

2023:7./ 303p
978-4-480-83724-0
¥2,640〔税込〕

基地国家の誕生～朝鮮戦争と日本・アメリカ～

南基正 著
東京堂出版
朝鮮戦争の「前線基地」であった日本。韓国における現代日本研究の第一人者が、戦後日本が「軍隊をもたず、同盟国の安全保障上の要の位置で基地の役割に徹する」基地国家として生まれ変わった過程を論じる。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 478p
978-4-490-21090-3
¥4,950〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ユダヤ人の自己憎悪(叢書・ウニベルシタス　1158)

テオドール・レッシング 著
法政大学出版局
ヨーロッパの反ユダヤ主義の歴史に見られる、ユダヤ人自身による反ユダヤ主義的な「自己憎悪」現象の原因を、6 人の知識人の生涯から考察し、救済への道を模索する。1930 年発表の重要作の初邦訳。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 362p,7p
978-4-588-01158-0
¥4,400〔税込〕

ふつうの相談

東畑　開人 著
金剛出版
人が人を支えるとはどういうことか。心の回復はいかにして可能になるか。日々の友人関係からサイコセラピーの治療関係まで、対人支援としての「ふつうの相談」を解き明かす。補遺「中断十カ条-若き心理士への手紙」を収録。

読売新聞 2023/11/26

2023:8./ 204p
978-4-7724-1983-3
¥2,420〔税込〕

関西フォークとその時代～声の対抗文化と現代詩～

瀬崎 圭二 著
青弓社
関西フォークとは、どのようなムーブメントだったのか。岡林信康、高田渡らフォークシンガーの音楽実践を現代詩との交差から描き出し、その音楽性や文学運動としての側面を照らす。『同志社国文学』等掲載に加筆。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 322p
978-4-7872-7458-8
¥3,080〔税込〕

生き延びるための女性史～遊廓に響く<声>をたどって～

山家悠平 著
青土社
かつて遊廓を生きた女性たちが書いた日記や小説は、時の隔たりをこえて、ふたたび現在に響き始める-。歴史家であり小説家である著者が、人びとの歴史の<声>を記憶し、描き出す、フェミニズムの思想と実践。

読売新聞 2023/11/26

2023:8./ 248p
978-4-7917-7576-7
¥2,640〔税込〕

快慶作品集

佐々木香輔 著
東京美術
激動の鎌倉時代を生き、彫刻表現の新時代を築いた快慶。光を操り、神々しく精緻な仏像を生み出した。その姿を光の強い陰影により闇に浮かび上がらせた写真家・佐々木香輔の国内主要作品を網羅する。

読売新聞 2023/11/26

2023:10./ 175p
978-4-8087-1233-4
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

芭蕉書簡集(岩波文庫　黄 206-7)

松尾　芭蕉 著
岩波書店
芭蕉ほど密接にその人間と芸術を融合一致させつつ成長していった作家は他にないであろう。彼にとっては自己の人間完成への道が即ち芸術完成への道であった。これら書簡にはそうした芭蕉の姿、足どりが見事に写しだされている。

日本経済新聞 2023/11/04

1976:1./ 456p
978-4-00-302067-8
¥1,111〔税込〕

言語哲学がはじまる(岩波新書　新赤版 1991)

野矢 茂樹 著
岩波書店
語の意味より文の意味が優先する? 「富士山」は本当の名前じゃない? 言語哲学の源流を形作った 3 人の哲学者、フレーゲ、ラッセル、ウィトゲンシュタインの考え方を丁寧に辿り、ふだん何気なく使っている言葉の根本に迫る。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:10./ 270p
978-4-00-431991-7
¥1,100〔税込〕

大江健三郎全小説<1>

大江 健三郎 著
講談社
ノーベル文学賞作家・大江健三郎の小説群を、詳しい解説を付して編集した全集決定版。1 は、初書籍化作品「石膏マスク」「部屋」や、入手困難作品「偽証の時」「暗い川おもい櫂」「喝采」など全 19 作品を収録。

日本経済新聞 2023/11/04

2018:9./ 673p
978-4-06-509002-2
¥6,380〔税込〕

事務に踊る人々

阿部 公彦 著
講談社
事務。それは人間を人間たらしめる究極の知恵-。時に文豪を苦しめ、戦争を阻止し、巨額の損失を生み、ついには死の世界を垣間見せる事務の営みから人間のあり方を再考する。『群像』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:9./ 388p
978-4-06-532946-7
¥2,090〔税込〕

インド～グローバル・サウスの超大国～(中公新書　2770)

近藤正規 著
中央公論新社
世界一の人口、世界第 5 位の GDP、そして新興国の盟主とされるインド。インド経済研究の第一人者が、財閥の盛衰や IT 産業のビジネス面から、外交、格差問題、日印関係の今後まで幅広く解説する入門書。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:9./ 5p,302p
978-4-12-102770-2
¥1,078〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

政治家石橋湛山～見識ある「アマチュア」の信念～(中公選書　140)

鈴村裕輔 著
中央公論新社
戦前日本を代表する自由主義者であり言論人であり、戦後政界に飛び込んだ石橋湛山。派閥を率い、大臣を歴任し、首相になるも、彼は自らの政治理念を現実政治の中で実現できたのか。没後 50 年、その真価を問う。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:9./ 10p,312p
978-4-12-110141-9
¥2,200〔税込〕

サミュエルソンかフリードマンか～経済の自由をめぐる相克～

ニコラス・ワプショット 著
早川書房
20 世紀を代表する 2 人の偉大な経済学者、ポール・サミュエルソンとミルトン・フリードマンが生涯にわたって繰り広げた論争と、彼らの経済論が世界に与えた影響、知られざる交流の実態を、豊富な資料を基に描く。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:8./ 462p
978-4-15-210263-8
¥3,740〔税込〕

カーライルの人生と思想

向井　清 著
大阪教育図書
日本経済新聞 2023/11/04

2005:3./ 265p
978-4-271-11748-3
¥2,933〔税込〕

教養としてのインターネット論～世界の最先端を知る「10 の論点」～

谷脇 康彦 著
日経ＢＰ社
グローバルなインターネットの時代が終わった今、最前線で起きている競争や対立とは。データが中心になって変わっていく世界「データ駆動社会」を中核に位置づけながら、インターネットの未来について様々な観点から考察する。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:9./ 261p
978-4-296-00164-4
¥1,980〔税込〕

これまでの経済で無視されてきた数々のアイデアの話～イノベーションとジェンダー～

カトリーン・キラス＝マルサル 著
河出書房新社
なぜスーツケースにキャスターがつくまで 5000 年も要したのか。どうして男らしさ・女らしさに関する支配的な通説がお金を稼ごうとする市場の欲望より頑固だったのか。ジェンダーの観点からイノベーションについて考える。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:8./ 299p
978-4-309-23137-2
¥2,310〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

その禅語、決まった時だけ掛けていませんか

岩崎宗瑞 著

淡交社

禅語をもっと自由に解釈して、茶掛の視野を広げてみませんか? 「関」「日日是好日」など、茶席でよく目にする禅語の意味を解説し、季節や約束ごとに縛られない、心の交流を基準にした茶掛選びをアドバイスする。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:10./ 207p
978-4-473-04569-0
¥1,980〔税込〕

これだけは知っておきたい統一教会問題

島薗 進 編

東洋経済新報社

取締りを受けるはずの事態が長く見逃されてきたのはなぜか。日本人からの搾取を正当化する外国の宗教団体を、日本の政治家が積極的に支持し、厚い協力関係を保ってきたのはなぜか。統一教会の複雑な背景事情を探る。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:9./ 317p
978-4-492-22413-7
¥1,980〔税込〕

【デジタル・オンデマンド版】過去と現在(カーライル選集　3)

トマス・カーライル 著

日本教文社

カーライルの社会批評。十二世紀の修道院長サムソンの奇跡を書きしるした年代記を読んだことが契機となり、「過去」との対照において「現代」の社会的危機を痛切に指摘したもの。

日本経済新聞 2023/11/04

2015:4./ 436p,7p
978-4-531-02643-2
¥4,730〔税込〕

言志四録～現代語抄訳～

佐藤一斎 著

ＰＨＰ研究所

日本という国に志高き「サムライ」がいた時代から読み継がれてきた至高の書をわかりやすく現代語訳。心の危機を乗り越えるために。自分の壁を突き破るために。周りの人々を幸せにするために。真のリーダーを目指す人のために。

日本経済新聞 2023/11/04

2005:5./ 254p
978-4-569-64258-1
¥1,320〔税込〕

大英帝国衰亡史

中西輝政 著

ＰＨＰ研究所

大国は、いかにして主役の座を降りるのか? 大英帝国の興隆の歴史を概観するとともに、19 世紀後半から 20 世紀半ばに至る衰亡のプロセスを、経済力、対外政策、戦略といった面から具体的に叙述する。

日本経済新聞 2023/11/04

2015:2./ 365p,9p
978-4-569-82396-6
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

この密やかな森の奥で(二見文庫　ザ・ミステリ・コレクション グ 11-1)

キミ・カニンガム・グラント 著

二見書房

過去の罪から逃げるようにクーパーは 8 年間、娘と共に人里離れた山奥で暮らしてきたが、ある理由から町に出ることに。懸命に築き上げてきた静かな生活は少しずつ崩れていき…。読書会のための論題も収録。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:11./ 418p
978-4-576-23100-6
¥1,430〔税込〕

二人の美術記者～井上靖と司馬遼太郎～

ホンダ・アキノ 著

平凡社

新聞記者時代、美術と宗教を担当し、その後作家へと転身した共通点をもつ井上靖と司馬遼太郎。のちに国民的作家となったふたりの知られざる美術記者としての葛藤の日々、対照的な美へのまなざしを追う。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:9./ 254p
978-4-582-83932-6
¥2,640〔税込〕

大学の反省(日本の〈現代〉)

猪木　武徳 著

ＮＴＴ出版

難問が山積し、魅力を失い始めた日本の大学。何を追い求めればよいのか。何を憧れとすべきなのか。そういう「理念」を果たしてわれわれは持てるのか。その現状を正確に透視し、新たな希望の道を探る。

日本経済新聞 2023/11/04

2009:4./ 316p
978-4-7571-4102-5
¥2,530〔税込〕

体に悪い、悪くない、ホントはどっち?～体内に取り込む化学物質が気になったから論文 1000 本読んでみた～

ジョージ・ザイダン 著

化学同人

加工食品、電子タバコ、コーヒー、チートス…。「体にいい」「体に悪い」って研究結果は、ホントかウソか? いろいろな疑問への回答を得るために、体内に取り込む化学物質に関する論文 1000 本を読んで検証する。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:8./ 5p,361p
978-4-7598-2342-4
¥3,190〔税込〕

ナムコはいかにして世界を変えたのか～ゲーム音楽の誕生～(ele‐king books)

鴫原盛之 著

Ｐヴァイン

いまや世界中で親しまれているゲーム音楽。日本におけるゲーム音楽の誕生から、ゲーム音楽の市場および文化の確立に至るまでの過程を、ナムコ歴代のビデオゲーム作品の音楽にフォーカスしたうえで、当事者の証言をまとめる。

日本経済新聞 2023/11/04

2023:8./ 254p
978-4-910511-55-9
¥2,475〔税込〕

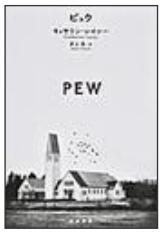
MARUZEN-YUSHODO

おとめ座の荷風

持田 叙子 著
慶應義塾大学出版会
永井荷風はなぜ新たな女性像を描き続けたのか。知的な女性芸術家の出現に熱く期待した明治の若き荷風のあけぼのを、森鷗外や与謝野晶子を織り交ぜて論じ、「おとめ」の文学史を新たにつむぐ。

日本経済新聞 2023/11/04、読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 251p
978-4-7664-2901-5
¥2,970〔税込〕



ピュウ

キャサリン・レイシー 著
岩波書店
名前や国籍、性別や人種、なにもわからず、便宜的に“ピュウ”と名付けられた人物の登場は、敬虔なキリスト教徒の多い保守的な町に、静かな動揺を広げていき…。謎めいた語り手を通じて描く、奇妙で恐ろしい寓話。

日本経済新聞 2023/11/11

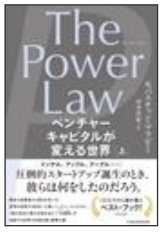
2023:8./ 243p
978-4-00-024553-1
¥3,080〔税込〕

樹木が地球を守っている

ペーター・ヴォールレーベン 著
早川書房
樹木はどんな科学技術よりも優れた力で二酸化炭素を吸収し、雨量や気温を適切な状態へとコントロールする。そしてその調整の仕方を子孫に受け継いでいく-。樹木の秘められた力を明かし、環境問題解決の道筋を説く。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 279p
978-4-15-210270-6
¥2,090〔税込〕

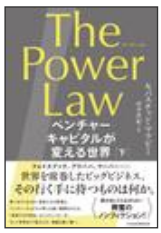


The Power Law～ベンチャーキャピタルが変える世界～<上>

セバスチャン・マラビー 著
日経ＢＰ社
インテル、アップル、グーグル…。人々の日常をつくった企業は、どのように生まれたのか。数多の起業家から原石を見つけ、世界を変革する存在へと導くベンチャーキャピタルの内実と、その社会的衝撃を緻密に描く。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 389p
978-4-296-11508-2
¥2,090〔税込〕



The Power Law～ベンチャーキャピタルが変える世界～<下>

セバスチャン・マラビー 著
日経ＢＰ社
フェイスブック、アリババ、ウーバー…。世界を席巻したビッグビジネスの行く手に待つものは何か。数多の起業家から原石を見つけ、世界を変革する存在へと導くベンチャーキャピタルの内実と、その社会的衝撃を緻密に描く。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 427p 図版 12p
978-4-296-11509-9
¥2,090〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

宇宙ビジネスの衝撃～21 世紀の黄金をめぐる新時代のゴールドラッシュ～

大貫　美鈴 著
ダイヤモンド社
スペース X、グーグル、アマゾン、フェイスブック、マイクロソフト、アップル…。なぜ、IT の巨人たちは宇宙に巨額投資するのか? 清水建設宇宙開発室、JAXA 出身の著者が、宇宙ビジネスの最前線を明かす。

日本経済新聞 2023/11/11

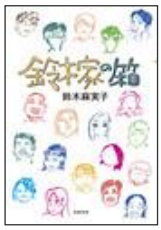
2018:5./ 257p
978-4-478-06810-6
¥1,760〔税込〕

体育がきらい(ちくまプリマー新書　437)

坂本 拓弥 著
筑摩書房
ボールが怖い、失敗すると恥ずかしいなどの理由できらわれがちな体育だが、強さや速さよりも重要なことがある。「体育の授業がきらい」「スポーツがきらい」など「きらい」の理由を哲学で解きほぐしながら、体育の本質に迫る。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:10./ 218p
978-4-480-68461-5
¥968〔税込〕



鈴木家の箱

鈴木 麻実子 著
筑摩書房
ずっとジブリが好きではなかった-。ジブリの父を見て育ち、カントリー・ロード(「耳をすませば」)の訳詞を手がけた著者によるエッセイ集。『web ちくま』連載などに書き下ろしを加えて単行本化。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:10./ 187p
978-4-480-81576-7
¥1,980〔税込〕

石母田正～暗黒のなかで眼をみひらき～(ミネルヴァ日本評伝選)

磯前　順一 著
ミネルヴァ書房
日本社会を変革する可能性を歴史の中に探り、戦後の歴史学を牽引した石母田正。彼の著述の背後にある思想やマルクス主義運動との関わりを丹念に読み解き、「革命の歴史家」たるその実像を鮮やかに浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:8./ 16p,359p,10p
978-4-623-09519-3
¥4,180〔税込〕

ウクライナを知るための 65 章(エリア・スタディーズ　169)

服部　倫卓、原田　義也 著
明石書店
自然環境、歴史、民族、言語、宗教、芸術、文化…。研究者をはじめ、現地の情勢に詳しいマスコミや企業、官公庁勤務の執筆者らが、様々な面からウクライナの魅力を紹介する。現代ウクライナの諸問題も取り上げる。

日本経済新聞 2023/11/11

2018:10./ 408p
978-4-7503-4732-5
¥2,200〔税込〕

アフガニスタンを知るための 70 章(エリア・スタディーズ　185)

前田　耕作／山内　和也 著
明石書店
東西冷戦や宗教原理主義の台頭、いわゆる「テロとの戦い」の舞台となるなど、数十年にわたり苦しい状況に置かれているアフガニスタン。その歴史と文化、人びとの暮らしを、平和と復興への期待を込めて幅広く紹介する。

日本経済新聞 2023/11/11

2021:9./ 408p
978-4-7503-5243-5
¥2,200〔税込〕

NATO<北大西洋条約機構>を知るための 71 章(エリア・スタディーズ　195)

広瀬　佳一 著
明石書店
ロシアのウクライナ侵攻により改めて世界の注目を集めている NATO(北大西洋条約機構)。その組織構造、成立の歴史、拡大する機能・加盟国、戦略概念の変遷、そして日本との関わり等を各分野の専門家が解説する。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:2./ 372p
978-4-7503-5538-2
¥2,200〔税込〕

ラダックを知るための 60 章(エリア・スタディーズ　200)

煎本　孝／山田　孝子 著
明石書店
ラダックはヒマラヤ山脈中のラダック王国として成立し、現在はインド連邦直轄領として、その独自性を誇示し続けている。ラダックの自然、歴史、経済、社会、文化、儀礼、宗教、政治について詳細に解説する。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 402p
978-4-7503-5621-1
¥2,200〔税込〕

「新しい国民皆保険」構想～制度改革・人的投資による経済再生戦略～

田中　秀明 著
慶應義塾大学出版会
日本の社会保障・教育と人材育成・税制の問題を、データに基づき徹底解明。社会保険を基盤とする主要国を中心に社会保障制度と改革過程を比較し、日本との相違を明らかにし、解決のための具体策を模索する。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:9./ 16p,313p
978-4-7664-2916-9
¥2,970〔税込〕

小さな宇宙ベンチャーが起こしたキセキ

永崎　将利 著
アスコム
誰もやったことがない仕事をする! 宇宙知識ゼロのド文系社長が日本初の「宇宙商社」を作り、たった 3 年で NASA や JAXA と協業までしてしまった実話に基づく物語。

日本経済新聞 2023/11/11

2020:10./ 302p
978-4-7762-1096-2
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界の宇宙ビジネス法

小塚 荘一郎／笹岡 愛美 著

商事法務

各国の法制はもちろん、周波数の割当て、ファイナンス、商業有人宇宙飛行、宇宙資源開発など重要トピックスを横断的に解説し、宇宙ビジネス法の全体像を示す。『国際商事法務』掲載に新しい項目を追加して書籍化。

日本経済新聞 2023/11/11

2021:10./ 10p,300p
978-4-7857-2905-9
¥2,860〔税込〕

「経済成長」の起源～豊かな国、停滞する国、貧しい国～

マーク・コヤマ／ジャレド・ルービン 著

草思社

世界はどのようにして豊かになったのか? 持続的な経済成長に成功した経済圏には前提条件があった! その条件を、地理、政治、文化、宗教、人口動態、植民地などの要因をもとに、最新理論を引きつつ検証する。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:8./ 441p
978-4-7942-2669-3
¥3,740〔税込〕

ジャズで踊って～舶来音楽芸能史～ 完全版(草思社文庫 せ 2-1)

瀬川 昌久 著

草思社

ジャズの発生から日本への渡来、太平洋戦争開始前までの日本のジャズ、タップダンスの変遷を豊富な資料で綴る。エノケン、笠置シヅ子、名タッパーたちをはじめ、戦前に花開いた日本のジャズとモダニズム文化を生き生きと描く。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:10./ 540p
978-4-7942-2685-3
¥1,980〔税込〕

宗教の起源～私たちにはなぜ<神>が必要だったのか～

ロビン・ダンバー 著

白揚社

ときに国家間の戦争を引き起こすほど人々の心に深く根ざした信仰心はなぜ生まれたのか? 「ダンバー数」で世界的に評価された著者が、人類学、心理学、神経科学など多彩な視点から「宗教とは何か」という根源的な問いに迫る。

日本経済新聞 2023/11/11

2023:10./ 349p
978-4-8269-0248-9
¥3,300〔税込〕

文学は地球を想像する～エコクリティシズムの挑戦～(岩波新書 新赤版 1988)

結城 正美 著

岩波書店

環境問題を考える手がかりは文学にある。ソロー、石牟礼道子、梨木香歩、カズオ・イシグロらの作品に、環境をめぐる文学研究=エコクリティシズムの手法で分け入り、地球と向き合う想像力を掘り起こす。

日本経済新聞 2023/11/11、毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 248p
978-4-00-431988-7
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「ピアノを弾く少女」の誕生～ジェンダーと近代日本の音楽文化史～

玉川裕子 著
青土社
ほかの楽器に比べて、一般の家庭に積極的に受け入れられていったピアノ。なぜほかの楽器ではなく、ピアノなのか。なぜ習い手は女性なのか。ピアノが普及していく黎明期の日本社会を丹念に追い、その背景に迫る。

日本経済新聞 2023/11/11、毎日新聞 2023/11/18

2023:9./ 305p,8p
978-4-7917-7586-6
¥2,640〔税込〕

私の読書遍歴～猿飛佐助からハイデガーへ～(岩波現代文庫　社会 203)

木田　元 著
岩波書店
忍術小説に熱中した少年が、なぜハイデガーの研究者になるにいたったか。難解な哲学書のわかりやすい翻訳で知られる著者の約 70 年に及ぶ読書体験記。

日本経済新聞 2023/11/18

2010:6./ 276p
978-4-00-603203-6
¥1,012〔税込〕

死生観を問う～万葉集から金子みすゞへ～(朝日選書　1037)

島薗　進 著
朝日新聞出版
古代から現代に至るまでの生活文化と日本の文芸のなかから、「魂のふるさと」「無常」「桜」「うき世」などのモチーフに注目して、死生観の表現を拾い上げ、現代人の死生観を問い直す手がかりにする。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:10./ 335p
978-4-02-263128-2
¥1,870〔税込〕

心に、光を。～不確実な時代を生き抜く～

ミシェル・オバマ 著
KADOKAWA
どんな世界に暮らしたい? 誰を信頼する? 子どもはどうやって大人になる? 人生の大きな問題に、わかりやすい解決策なんてない。不安の多い世界との向き合い方を、元米国ファーストレディが語る。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 355p
978-4-04-113720-8
¥2,640〔税込〕

無常という事　改版(角川文庫)

小林　秀雄 著
角川書店
日本経済新聞 2023/11/18

1983:7./ 216p
978-4-04-114103-8
¥331〔税込〕

21 世紀版少年少女日本文学館<16>　しろばんば

井上 靖／高田 勲 著
講談社
名家に生まれた孤独な少年の感受性がとらえた人生の光と闇を描いた、井上靖の自伝的小説「しろばんば」の前編を収録。読みやすい総ルビ、豊富な用語解説付き。

日本経済新聞 2023/11/18

2009:4./ 397p
978-4-06-282666-2
¥1,540〔税込〕

夏草冬濤<上>(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

日本経済新聞 2023/11/18

1989:1./ 423p
978-4-10-106333-1
¥935〔税込〕

夏草冬濤<下>(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

日本経済新聞 2023/11/18

1989:1./ 378p
978-4-10-106334-8
¥880〔税込〕

北の海<上巻>(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

日本経済新聞 2023/11/18

2003:8./ 440p
978-4-10-106337-9
¥781〔税込〕

北の海<下巻>(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

日本経済新聞 2023/11/18

2003:8./ 353p
978-4-10-106338-6
¥693〔税込〕

2001 年宇宙の旅　決定版(ハヤカワ文庫 SF)

アーサー・C・クラーク 著

早川書房

三百万年前に地球に出現した謎の石板は、ヒトザルたちに何をしたか。月面に発見された同種の石板は、人類にとって何を意味するのか。宇宙船のコンピュータHAL9000 は、なぜ人類に反乱を起こしたのか。作者の新版序文を付した傑作の決定版!

日本経済新聞 2023/11/18

1993:2./ 330p
978-4-15-011000-0
¥990〔税込〕

ゴシップ的日本語論(文春文庫)

丸谷 才一 著

文芸春秋

昭和天皇の話し方から日本語の問題を、そして悪口の言い方から文章論を考察。他、鏡花、折口、源氏を論じて納得の講演・対談集

日本経済新聞 2023/11/18

2007:10./ 271p
978-4-16-713819-6
¥649〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

漆の実のみのる国<上>(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋
一汁一菜に甘んじつつ財政改革に心血そそいだ上杉鷹山と執政たちの無私の心と苦悩を描き、藤沢さんの遺書とさえよばれた傑作長篇

日本経済新聞 2023/11/18

2000:2./ 285p
978-4-16-719232-7
¥748〔税込〕

漆の実のみのる国<下>(文春文庫)

藤沢 周平 著
文芸春秋
日本経済新聞 2023/11/18

2000:2./ 315p
978-4-16-719233-4
¥748〔税込〕

洞爺丸はなぜ沈んだか(文春文庫)

上前 淳一郎 著
文藝春秋
日本経済新聞 2023/11/18

1983:4./ 263p
978-4-16-724804-8
¥426〔税込〕

民主主義のファイブ・フォース分析～政治産業にイノベーションを!～

キャサリン・M・ゲール（Katherine M. Gehl）／マイケル・E・ポーター(Michael E. Porter) 著
日経ＢＰ社
民主・共和の 2 大政党の党派的な対立で行き詰まるアメリカの民主主義。競争戦略論の大家と女性企業家が、産業分析のツールである「ファイブ・フォース分析」を使って分析し、具体的な処方箋を提示する。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 288p
978-4-296-00115-6
¥3,080〔税込〕

世界秩序の変化に対処するための原則～なぜ国家は興亡するのか～

レイ・ダリオ 著
日経ＢＰ社
過去 500 年の主要な帝国と通貨の興亡を研究し、その盛衰の背後にあるパターンと時空を超えた因果関係を探求してきた著者が、世界秩序のサイクルを明かす。アメリカなど個別の事例を掘り下げ、将来へのアプローチを伝える。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 554p
978-4-296-11618-8
¥4,400〔税込〕

人事変革ストーリー～個と組織「共進化」の時代～(光文社新書　1276)

髙倉千春 著
光文社
個が活きる組織とは? 外資企業と日本企業で戦略人事や人事制度改革に取り組んできた人事のプロフェッショナルが、日本企業が抱える課題と歩むべき道を示す。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:10./ 248p
978-4-334-10088-9
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ガンディーの真実～非暴力思想とは何か～(ちくま新書　1750)

間 永次郎 著
筑摩書房
西洋文明が生み出すあらゆる暴力に抗うガンディーの非暴力思想はいかに生まれたのか。真実を直視し、真実と信じるものに忠実であろうとしたガンディーの生涯から、後の世代に大きな影響を与えた思想の全貌と限界に迫る。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 278p,8p
978-4-480-07578-9
¥1,034〔税込〕

晩酌の誕生(ちくま学芸文庫　イ 54-4)

飯野 亮一 著
筑摩書房
今の日本人が家飲みを好むのは、江戸時代からの晩酌文化を受け継いでいるから? 肴は現代と変わらぬ多彩さで、江戸の町では振り売りから肴や燗酒を入手できた。驚くほど豊かだった日本人の家飲みの歴史を挿絵を交えて繙く。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:11./ 375p
978-4-480-51216-1
¥1,430〔税込〕

渚にて～人類最後の日～(創元 SF 文庫)

ネヴィル・シュート 著
東京創元社
第三次世界大戦が勃発、放射能に覆われた北半球の諸国は次々と死滅していった。かろうじて生き残った合衆国原潜〈スコーピオン〉は汚染帯を避けオーストラリアに退避してきた。そんななか合衆国から断片的なモールス信号が届く。

日本経済新聞 2023/11/18

2009:4./ 472p
978-4-488-61603-8
¥1,100〔税込〕

LIFE SHIFT～100 年時代の人生戦略～

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット 著
東洋経済新報社
多くの人が 100 年以上生きる社会で、どうすれば、個人や家族、企業、社会全体が長寿化から得る恩恵を最も大きくできるのか。世界で活躍するビジネス思想家たちが、成長至上の次に来る、新しいビジョンを示す。

日本経済新聞 2023/11/18

2016:10./ 399p,15p
978-4-492-53387-1
¥1,980〔税込〕

わすれられないおくりもの(児童図書館・絵本の部屋)

スーザン・バーレイ 著
評論社
だれからもたよりにされ、したわれていたアナグマが死んだ。かけがえのない友を失った悲しみで、みんなはどうしていいかわからない。でもアナグマは、野原のみんな一人一人に、すてきなおくりものをのこしていった…。

日本経済新聞 2023/11/18

1986:10./ 26p
978-4-566-00264-7
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

エセ物語(対抗言論叢書 3)

室井 光広 著
法政大学出版局
てんでんこな言葉遊び、無限の繰り言が日本語の原郷、東アジアの無意識をあぶり出す。室井文学未完の遺作、易占トリックな試み=エセーの物語。『三田文学』『てんでんこ』連載に未発表のテクストを加え書籍化。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 3p,756p
978-4-588-46023-4
¥5,500〔税込〕

連合艦隊の最後～太平洋海戦史～　新装版(光人社 NF 文庫)

伊藤　正徳 著
潮書房光人新社
日本経済新聞 2023/11/18

2004:4./ 367p
978-4-7698-2016-1
¥869〔税込〕

僕が肉を食べなくなったわけ～動物との付き合い方から見えてくる僕たちの未来～

三木直子 編
ヘンリー・マンス 著
築地書館
人間とすべての生き物の関係を、畜産・食肉業、レストラン、漁業者、ハンター斡旋業者、動物園経営者など動物と関わる多様な分野の人々への取材を通じて考える。アニマルライツ、疫学、生態系保全の視点も踏まえた非・肉食論。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 463p
978-4-8067-1656-3
¥3,190〔税込〕

熱狂と欲望のヘルシーフード～「体にいいもの」にハマる日本人～

畑中三応子 著
ウェッジ
平成から今日までを中心に、日本人が累々と築いてきた健康食とダイエットの足跡をたどる。明治時代から昭和にかけてのはずせないエピソードも紹介。健康と痩身を軸にした食の流行を通した日本人論を描き出す。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:8./ 271p
978-4-86310-267-5
¥1,980〔税込〕

革命と住宅(ゲンロン叢書 015)

本田 晃子 著
ゲンロン
狭小で劣悪な住宅環境と、建てられることのない紙上の「亡霊建築」に分離したソビエト/ロシアの建築の数々。建築から見えるロシアが抱える矛盾と、そこで生きる人びとの姿を論考する。『ゲンロン β』掲載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:9./ 346p
978-4-907188-51-1
¥2,970〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

妻が余命宣告されたとき、僕は保護犬を飼うことにした

小林孝延 著

風鳴舎

妻の末期ガン闘病中、家族は会話もしなくなり最悪の状態に。そんななか、保護犬を飼うことをすすめられ、出会ったのが「福」だった-。「福」との出会いと日々を「福」の写真とともに綴る。インスタグラム投稿を書籍化。

日本経済新聞 2023/11/18

2023:10./ 255p
978-4-907537-46-3
¥1,870〔税込〕

マトリョーシカのルーツを探して～「日本起源説」の謎を追う～

熊野谷 葉子 著

岩波書店

ロシア土産として世界中で親しまれているマトリョーシカ。そのルーツは、「日本の入れ子七福神」という説は本当なのか? ロシアと日本の民衆木工芸の歴史と文化に分け入りながら、マトリョーシカ誕生にまつわる謎を追う。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:9./ 300p
978-4-00-024836-5
¥2,970〔税込〕

ガバナンス貨幣論～理念・歴史・制度設計～

田邉 昌徳 著

岩波書店

<ガバナンス>こそが貨幣を貨幣たらしめるという立場に立ち、貨幣の機能と現状、貨幣の成立と消滅、よりよい貨幣のガバナンスのあり方を論じることで、<社会的共通資本>として貨幣を位置付けることを目指す。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:9./ 428p
978-4-00-061611-9
¥8,140〔税込〕

日本精神史<近代篇上>(講談社選書メチエ　le livre)

長谷川 宏 著

講談社

近代の日本の美術・思想・文学を、人々の精神の歴史として描く。近代篇上は、明治維新という近代の始まりから、啓蒙思想の転変や近代文学者の苦闘などを経て、岸田劉生や村上華岳らによる美の探究までを取り上げる。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:10./ 544p
978-4-06-523521-8
¥3,410〔税込〕

日本精神史<近代篇下>(講談社選書メチエ　le livre)

長谷川 宏 著

講談社

近代の日本の美術・思想・文学を、人々の精神の歴史として描く。近代篇下は、軍国ファシズム下の表現から、敗戦後の精神のありよう、大衆文化や高度経済成長下の運動と表現、大江健三郎・唐十郎・宮崎駿までを取り上げる。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:10./ 499p
978-4-06-533332-7
¥3,410〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

行儀は悪いが天気は良い

加納 愛子 著

新潮社

なんで私は、芸人になったんやろ-。生まれ育った大阪のことから多感な学生時代、芸人としての日常まで、とことん自分と向き合った全 24 編を収録する。『小説新潮』連載に書下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:11./ 206p
978-4-10-355371-7
¥1,540〔税込〕

貨幣の国家理論

ゲオルク・フリードリヒ・クナップ 著

日経ＢＰ社

貨幣の価値は、物々交換の為の自発的な商品貨幣という意味合いよりも、国家による法制上の創造物であることに由来する-。なぜ貨幣が今ある姿のようになっているのかを、様々な事例を交えてロジカルに説明した名著を完訳。

日本経済新聞 2023/11/25

2022:11./ 429p
978-4-296-11542-6
¥3,960〔税込〕

諸葛亮<上>

宮城谷昌光 著

日経ＢＰ社

この者は時機がくれば、雲を招き、天に昇る龍となる。知られざる生い立ち、晴耕雨読の青年期…。宮城谷昌光が、英雄にして忠臣の誉れ高い諸葛亮の実像に迫る。『日本経済新聞』夕刊連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:10./ 325p
978-4-296-11750-5
¥1,980〔税込〕

諸葛亮<下>

宮城谷昌光 著

日経ＢＰ社

三顧の礼で迎えられ、「天下三分の計」を献策、漢室復興のため帝と国に忠を尽くした名宰相-。宮城谷昌光が、伝説化された“天才軍師”諸葛亮の実像に迫る。『日本経済新聞』夕刊連載を単行本化。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:10./ 321p
978-4-296-11751-2
¥1,980〔税込〕

南北戦争を戦った日本人～幕末の環太平洋移民史～(筑摩選書　0264)

菅（七戸） 美弥／北村 新三 著

筑摩書房

南北戦争の兵役記録にある日本生まれの 2 人の兵士。なぜ、彼らはそこに居たのか。人の移動が厳しく制限されていた日本を離れ、アメリカに生きた/生きねばならなかった彼らの消息を、日米両国の資料から丹念に探査する。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:9./ 286p
978-4-480-01781-9
¥1,870〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

黒後家蜘蛛の会<1> 新版(創元推理文庫 M ア 2-1)

アイザック・アシモフ、池　央耿 著
東京創元社
月に一度開かれる<黒後家蜘蛛の会>の晩餐会では、毎回不思議な謎が出題される。その謎を解くのは、万事控えめな給仕のヘンリーだった! SF 界の巨匠が著した、安楽椅子探偵ものの歴史に燦然と輝く連作推理短編集。

日本経済新聞 2023/11/25

2018:4./ 377p
978-4-488-16709-7
¥968〔税込〕

法律学者の貨幣論～デジタル通貨・CBDC の未来～

久保田 隆 著
中央経済社
暗号資産が普及し、日本銀行がデジタル円の実証実験を行うなど通貨の在り方が問い直される時代。法学者の立場から、現状の分析を行い、自身の法的貨幣論を展開する。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:9./ 261p
978-4-502-46651-9
¥3,630〔税込〕

貨幣の謎～新型コロナウイルスから解明する～

山﨑 好裕、五十嵐 寧史、平井 靖史、渡辺 啓介、倉岡 功 著
中央経済社
ウイルスはお金(貨幣)に似ているのではないか。そんなインスピレーションを出発点に、いまだ謎が多いお金とウイルスについて、文系・理系の研究者がパンデミック、通貨、記憶、時間、生命、文学など様々な角度から探究する。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:9./ 216p
978-4-502-47251-0
¥2,860〔税込〕

裏切り者は誰だったのか～CIA 対 KGB 諜報戦の闇～

ハワード・ブラム 著
原書房
CIA の対ソ連防諜責任者だったピート・バグレーは、ある囮スパイの存在から CIA 内部に KGB の密告者が潜んでいると確信する。疑惑が新たな疑惑を呼ぶ諜報戦の闇を、元『ニューヨーク・タイムズ』の名物記者が記す。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:8./ 373p
978-4-562-07338-2
¥2,970〔税込〕

地衣類、ミニマルな抵抗

ヴァンサン・ゾンカ 著
みすず書房
世界の縁に身を置き、抵抗の姿勢を崩さない生物である地衣類。その環境詩学を東西の文学や思考と現代アートに見出し、そこに共生の思考をさぐり、人新世の未来に伝える野心作。

日本経済新聞 2023/11/25

2023:10./ 392p
978-4-622-09651-1
¥4,950〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

焼き芋とドーナツ～日米シスターフッド交流秘史～

湯澤　規子 著
KADOKAWA
有名無名を問わず、近代社会への転換期と産業革命期を生きた日米の女性たちのライフストーリーを記述。「なかったこと」にされてきた日常茶飯の世界と、実は主体的だった女性労働者の実像を蘇らせる。

日本経済新聞 2023/11/25、毎日新聞 2023/11/25

2023:9./ 364p
978-4-04-112649-3
¥2,420〔税込〕

67 歳の新人 ハン角斉短編集(ビッグ コミックス)

ハン角斉 著
小学館
衝撃作『山で暮らす男』で新人賞を受賞し、 業界を騒然とさせた 67 歳の新人・ハン角斉。 漲る初期衝動と独自の世界観でプロも称賛する 氏の読切 6 編を収めた奇跡の初単行本!

毎日新聞 2023/11/04

2022:10./ 216p
978-4-09-861412-7
¥715〔税込〕

穏やかなゴースト 画家・中園孔二を追って

村岡 俊也 著
新潮社
今年は天才がいるよ-。東京藝大在学時より注目され、卒業した翌年には小山登美夫ギャラリーで初個展を開催。煌めきと謎に充ちた夭折の画家・中園孔二の生涯と作品に迫る本格評伝。『芸術新潮』掲載を大幅に加筆修正。

毎日新聞 2023/11/04

2023:8./ 221p
978-4-10-355291-8
¥3,630〔税込〕

今日も寄席に行きたくなって

南沢 奈央 著
新潮社
落語との運命的な出会い、蝶花楼桃花の真打昇進までの半生記、伝説の超大作「怪談牡丹灯籠」、自身が高座に挑戦した演芸会など、女優・南沢奈央が寄席への愛を綴る。「はじめて寄席ガイド」も収録。『波』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/11/04

2023:10./ 228p
978-4-10-355331-1
¥1,870〔税込〕

京都～未完の産業都市のゆくえ～(新潮選書)

有賀 健 著
新潮社
「京料理が和食の代表」「インバウンドで大儲け」…これは本当に正しいのか? 地元の「洛中」礼賛一辺倒に疑問を持つ京大出身の経済学者が、「千年の都」が辿った特異な近現代の軌跡を、統計データを駆使して分析する。

毎日新聞 2023/11/04

2023:9./ 286p
978-4-10-603901-0
¥1,925〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

八色ヨハネ先生

三宅　威仁 著
文芸社
神学部元教授・八色ヨハネが、大阪市西成区のアパートで死亡した。享年 88。生粋の日本人であったが、「ヨハネ」と名付けられた彼は、どのように生き、どのように死んだのか…。生きることの意味を考えさせられる小説。

毎日新聞 2023/11/04

2023:9./ 169p
978-4-286-24606-2
¥1,540〔税込〕

奈良監獄から脱獄せよ

和泉 桂 著
幻冬舎
時は大正。日本で最も美しい監獄「奈良監獄」に無実の罪で収監された数学教師の弓削と印刷工の羽嶋。典獄からの嫌がらせ、看守の暴力で亡くなった友人、奈良監獄を作った先輩からの期待…。2 人は脱獄を実行する-。

毎日新聞 2023/11/04

2023:8./ 364p
978-4-344-04035-9
¥1,760〔税込〕

燃えて生きる～消防人のライフヒストリー 1～

加藤　孝一 著
近代消防社
消防職員や消防団員をはじめ、消防・防災・救急の分野に関わりを持った人々を「消防人」としてとらえ、その生き様や消防の世界との関わり、半生などを紹介。消防官から弁護士へ転身した増田直毅さんなど、10 人を取り上げる。

毎日新聞 2023/11/04

2023:9./ 279p
978-4-421-00979-8
¥1,799〔税込〕

じい散歩

藤野　千夜 著
双葉社
明石家は夫婦あわせてもうすぐ 180 歳。3 人の息子は全員独身で…。家族の可笑しみ、さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。『小説推理』『文學界』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/11/04

2020:12./ 269p
978-4-575-24357-4
¥1,760〔税込〕

これからの人生と生理を考える

伊藤 華英 著
山川出版社
生理について、元競泳日本代表である著者の体験や学びから見えてきた課題を、医学的知識とともに伝える。自分の人生にオーナーシップをもって過ごすためのヒントも提示。チェックリストあり。

毎日新聞 2023/11/04

2023:9./ 175p
978-4-634-15239-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

鉄道愛唱歌事典

長田 暁二 著

ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

歌謡曲、唱歌・童謡、世界の歌から、鉄道にまつわる 71 曲を歌詞&メロディー譜付きで紹介。鉄道の歴史の折々に誕生した名曲の時代背景や制作の裏話なども掲載する。

毎日新聞 2023/11/04

2023:9./ 238p
978-4-636-93080-1
¥3,520〔税込〕

ルネ・ヴィヴィアン伝

ジャン＝ポール・グージョン 著

水声社

数々の逸話をもつ詩人ルネ・ヴィヴィアン。終生彼女を詩作に駆り立てたものは何だったのか? 詩、草稿、手紙、証言を縦横に結び、女性による女性のための表現を求めた詩人を活写する。

毎日新聞 2023/11/04

2023:6./ 584p
978-4-8010-0730-7
¥8,800〔税込〕

仏教と西洋の出会い

フレデリック・ルノワール 著

トランスビュー

西洋にとって、ときに恐怖の的となり、ときに希望や幻想の対象となった仏教とは何だったのか。豊富な事例で、西洋における仏教の誤解と理解の壮大なドラマを描く初めての通史。

毎日新聞 2023/11/04

2010:9./ 337,30p
978-4-901510-93-6
¥5,060〔税込〕

サバキスタン<1>(路草 COMICS)

ビタリー・テルレツキー 著

トゥーヴァージンズ

架空の独裁国家における不自由や弾圧、陰謀、歴史の改ざん。そして人々の真実を求める心、抵抗、愛する国への願い－。迷える大国・ロシアから届いた、自由の意義を問いかけるアンチ独裁グラフィック・ノベル!

毎日新聞 2023/11/04

2023:8./ 156p
978-4-910352-81-7
¥1,980〔税込〕

サバキスタン<2> 仔犬たち(路草 COMICS)

ビタリー・テルレツキー 著

トゥーヴァージンズ

「同志相棒って、一体誰なの!?」真実を知りたいふたりは「同志相棒」の正体を突きとめるため、ある計画を実行する。「真実」はどこに?誰の手に?小さな名探偵、ウーフ&ハニー・スイート・ラブの大冒険が今、はじまる!

毎日新聞 2023/11/04

2023:9./ 125p
978-4-910352-84-8
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

サバキスタン<3> 裁判(路草 COMICS)

ビタリー・テルレツキー 著
トゥーヴァージンズ
一つの判決が、過去を裁き、未来を決定する!血塗られた負の歴史を背負いながら、自由と真実の勝利を信じて闘う勇敢なるサバーカたちの物語、ここに堂々完結!

毎日新聞 2023/11/04

2023:10./ 137p
978-4-910352-85-5
¥1,980〔税込〕

リスボン大地震～世界を変えた巨大災害～

ニコラス・シュラディ 著
白水社
1755 年、万聖節の朝、リスボンを襲った大地震と火災・津波は街を廃墟に変えた。リスボン大地震の実態と復興の足取りを史料を駆使して描き、社会・経済・科学・思想・宗教など広範囲に及んだ影響をたどる。

毎日新聞 2023/11/04、日本経済新聞 2023/11/11

2023:8./ 276p,11p 図版16p
978-4-560-09371-9
¥4,180〔税込〕

悪逆

黒川博行 著
朝日新聞出版
過払い金マフィア、マルチの親玉、カルトの宗務総長-社会に巣食う悪党が次々と殺害される。警察捜査を巧みに撹乱する男の目的とは-。凶悪な知能犯による強盗殺人を追う王道の警察小説。『週刊朝日』連載を加筆修正。

毎日新聞 2023/11/05

2023:10./ 579p
978-4-02-251937-5
¥2,200〔税込〕

もゆる椿

天羽恵 著
徳間書店
道場剣一筋の真木誠二郎は、尊王攘夷派の黒幕を誅殺すべく、江戸から京まで刺客の供をするよう言い渡される。鬼のような刺客と聞いて臆病者の誠二郎は怯えるが、現れたのは年端もいかない少女・美津で…。

毎日新聞 2023/11/05

2023:10./ 280p
978-4-19-865709-3
¥2,090〔税込〕

杉田久女全句集(角川ソフィア文庫 D124-1)

坂本　宮尾 編
杉田　久女 著
KADOKAWA
女性が社会進出を始めた大正デモクラシーの時代に、俳句の海へと船出した杉田久女。女流俳句の先駆にして悲劇の俳人として知られる久女の全貌を俯瞰する貴重な全句集。未発表句や随筆選も掲載する。

毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 461p
978-4-04-400775-1
¥1,540〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

黒博物館三日月よ、怪物と踊れ<1>(モーニング KC)

藤田 和日郎 著
講談社
ロンドン警視庁〈スコットランド・ヤード〉の犯罪資料室「黒博物館」を、歴史的ホラーヒーローの「生みの親」が訪れる。彼女が閲覧を希望したのは、赤いブーツ…2年前、女王主催の舞踏会で起きた怪事件の遺留品だった。

毎日新聞 2023/11/11

2022:7./ 192p
978-4-06-528312-7
¥957〔税込〕

イラストでひもとく仏像のフシギ

田中 ひろみ 著
小学館
千手観音といいながら、その手はなぜか 42 本? 仏像界のアイドル吉祥天は毘沙門天と結婚していた? 仏像イラストレーターが摩訶不思議のホトケワールドを案内する。『隔週刊 古寺行こう』連載に加筆して書籍化。

毎日新聞 2023/11/11

2023:10./ 103p
978-4-09-682436-8
¥1,760〔税込〕

燃えよ剣<上>

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
激動する時代の中でただ剣のみを信じ、史上類ない酷烈な軍事集団を創りあげ、男の美に殉じた新選組副長土方歳三の壮絶華麗な生涯

毎日新聞 2023/11/11

1980:1./ 427p
978-4-16-360570-8
¥1,760〔税込〕

燃えよ剣<下>

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
毎日新聞 2023/11/11

1980:1./ 428p
978-4-16-360580-7
¥1,760〔税込〕

ていねいな「文章大全」～日本語の「伝わらない」を解決する 108 のヒント～

石黒圭 著
ダイヤモンド社
「最後まで読んでもらえる日本語の文章」の書き方を徹底的にトレーニングする本。正確な文章、わかりやすい文章、配慮のある文章、工夫を凝らした文章を書くためのスキルを、Q&A や多数の具体例とともに解説する。

毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 527p
978-4-478-06951-6
¥2,860〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

犬のかわいいところ大全～小さな柴犬こつぶの 2000 日観察記録～

キリ 著
ダイヤモンド社
小さい柴犬、まめ柴こつぶの 7 年間の観察記録。信じている目、なでていいときのサイン、無言の圧…。日常から切りとった、こつぶの「かわいいところ」をマンガで描く。専門家監修の犬情報も満載。ブログ連載を書籍化。

毎日新聞 2023/11/11

2023:8./ 335p
978-4-478-11777-4
¥1,540〔税込〕

立法者・性・文明～境界の法哲学～

谷口　功一 著
白水社
ジェンダー/セクシュアリティ、移民/難民はじめ、よりいっそう先鋭化していく問題について、政治的、社会的足場を重視しつつ、分析する。「公共性」・「性」・「文明」という問題を貫いてきた法哲学の軌跡。

毎日新聞 2023/11/11

2023:10./ 272p,5p
978-4-560-09376-4
¥2,970〔税込〕

加藤周一を読む～「理」の人にして「情」の人～　増補改訂(平凡社ライブラリー　952)

鷲巣　力 著
平凡社
戦後日本を代表する国際的な知識人、加藤周一。その発想はどのようにして培われたのか。人間の可能性を信じ、人間の可能性に賭けた加藤周一の思索と行動を展望する。

毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 446p
978-4-582-76952-4
¥2,090〔税込〕

脱コスパ病～さらば、自損型輸入～

小島尚貴 著
育鵬社
お得で賢いと思っていた消費は、国産品の不買運動だった-。長年にわたる日本人の消費判断の病を克服し、真の国力を取り戻すための忘れられていた方法を説く。

毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 271p
978-4-594-09564-2
¥1,980〔税込〕

龍子<1>(トーチ・コミックス)

エルド吉水 著
リイド社
謎の金印を巡り交錯する、国を超えた父娘の愛憎－。血と硝煙の匂いに満ちた、中東の王国・フルセーヤ。「黒龍会」組長の龍子は黒海へと勢力を拡大する中、幼い頃に亡くした母の死の真相を告げられる。深まる謎は因果の果てに。

毎日新聞 2023/11/11

2023:9./ 264p
978-4-8458-6164-4
¥1,430〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

シェニール織とか黄肉のメロンとか

江國 香織 著
角川春樹事務所
母と暮らす作家の民子のもとに、イギリスから帰国した友人・理枝が居候させてほしいとやってきた。主婦の早希も交え、かつての「三人娘」は、西麻布のビストロで再会を祝し…。『ランティエ』連載に加筆訂正し単行本化。

毎日新聞 2023/11/11、読売新聞 2023/11/19

2023:9./ 268p
978-4-7584-1449-4
¥1,870〔税込〕

永瀬清子詩集(岩波文庫　緑 231-1)

永瀬 清子 著
岩波書店
“女の戦場”のただ中で書きつづけた詩人・永瀬清子の勁い生命感あふれる作品群より詩と短章を精選。戦前から女性詩を牽引してきた<現代詩の母>のエッセンスを感じられる詩集。谷川俊太郎との対談も収録。

毎日新聞 2023/11/18

2023:10./ 388p
978-4-00-312311-9
¥1,155〔税込〕

僕の好きな先生

宮崎亮 著
朝日新聞出版
新人時代の失敗と反省、コロナ禍の校長時代に市長へ送った提言書、大人になった教え子・かまちたちの濱家隆一と久しぶりに再会し、気づいたこと…。久保敬の教師生活と教え子の物語をたどる。『朝日新聞』連載記事を加筆修正。

毎日新聞 2023/11/18

2023:9./ 216p
978-4-02-251935-1
¥1,760〔税込〕

何でも見てやろう(講談社文庫)

小田 実 著
講談社
留学生時代の著者が、笑顔とバイタリティーで欧米・アジア 22 ヶ国を貧乏旅行して、先進国の病根から後進国の凄惨な貧困まで、ハラにこたえた現実を、見たまま感じたままに書いたベスト&ロングセラーの快著。

毎日新聞 2023/11/18

1979:7./ 458p
978-4-06-131583-9
¥924〔税込〕

あの光

香月 夕花 著
集英社
ハウスクリーニング会社を辞め独立した紅は、「開運お掃除サービス」を事業として立ち上げ、教祖的存在になるが…。自己啓発と承認欲求の闇を撃つオフリミットノベル。『小説すばる』連載を加筆・修正し単行本化。

毎日新聞 2023/11/18

2023:9./ 328p
978-4-08-771845-4
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

環と周～Anthology of Short Stories Exploring the Many Facets of Love Through Family,Romance,and Friendship～(マーガレットコミックス　ココハナ)

よしなが ふみ 著
集英社
家族、恋、友情……さまざまな関係性で綴られる“好きのかたち”。

毎日新聞 2023/11/18

2023:10./ 217p
978-4-08-844839-8
¥748〔税込〕

青春をクビになって

額賀 澪 著
文藝春秋
瀬川朝彦、35歳。無給のポスト・ドクターとして古事記の研究に青春を賭してきたが、研究を続けるべきか煩悶していた。そんな折、ゼミ時代の先輩が大学の貴重な史料を持ったまま行方不明になってしまうという事件が…。

毎日新聞 2023/11/18

2023:9./ 218p
978-4-16-391746-7
¥1,760〔税込〕

うるさいこの音の全部

高瀬 隼子 著
文藝春秋
ゲームセンターで働く長井朝陽の日常は、ペンネームで書いた小説が新人賞を受賞してから軋みはじめる。小説と現実の境界があいまいになっていき…。表題作に「明日、ここは静か」を併録。『文學界』掲載を単行本化。

毎日新聞 2023/11/18

2023:10./ 262p
978-4-16-391761-0
¥1,760〔税込〕

恋愛の日本史(宝島社新書　685)

本郷 和人 著
宝島社
しばしば「日本は性のタブーがない」といわれるが、本当に日本は性におおらかな国なのか。人気の東大教授が、日本人の性愛、恋愛、男女にまつわる歴史を大胆に解釈する。

毎日新聞 2023/11/18

2023:7./ 219p
978-4-299-04297-2
¥990〔税込〕

二尊院の二十五菩薩来迎図

小倉山 二尊院／金子信久／高橋大樹／中村圭佑／仲政明／久保恵子 著
国書刊行会
嵯峨野の名刹二尊院に伝わる「二十五菩薩来迎図」。約3年間に及ぶ修理のあと新たに撮り下ろした高精細画像で、その美しさを紹介する。『Art Salon』で発表した修理の様子、作品の制作と伝来を考察した論考等も収録。

毎日新聞 2023/11/18

2023:8./ 172p
978-4-336-07454-6
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

インパクト評価と価値創造経営～SDGs・ESG 時代におけるサステナブルな価値創造の好循環をめざして～

塚本一郎／関正雄／馬場英朗 著
第一法規
価値創造経営の実現におけるインパクト評価活用の意義・課題・論点について、先行研究や最新事例も踏まえながら実践的に学べる一冊。「インパクト評価と社会イノベーション」の続編。

毎日新聞 2023/11/18

2023:10./ 10p,244p
978-4-474-09229-7
¥3,740〔税込〕

南北朝正閏問題～歴史をめぐる明治末の政争～(筑摩選書　0260)

千葉 功 著
筑摩書房
日本の南北朝時代において南朝と北朝のどちらが正統かをめぐる明治末の論争は、重大な政治問題と化した。深刻かつ複雑な南北朝正閏問題を徹底的に掘り下げて考察。そこから浮かびあがる近代日本の特質に迫る。

毎日新聞 2023/11/18

2023:7./ 254p
978-4-480-01779-6
¥1,760〔税込〕

女の世界～大正という時代～

尾形 明子 著
藤原書店
百年前、こんな面白い雑誌があった! 「男も読む女性雑誌」として 1915(大正 4)年に創刊された『女の世界』。ゴシップ、スキャンダルから女性の権利、政治まで、清濁併せ呑む自由が溢れていた雑誌を初紹介。

毎日新聞 2023/11/18

2023:9./ 310p
978-4-86578-392-6
¥3,300〔税込〕

守る～本井英句集～(令和俳句叢書)

本井英 著
ふらんす堂
川の名は変はりてさらに鰻落つ 病ひには触れず日焼を褒めくれし お薬師さま里へ下ろして山眠る 平成 27 年から令和 4 年までの作品を収めた第 6 句集。初句索引、季題索引付き。

毎日新聞 2023/11/20

2023:10./ 201p
978-4-7814-1581-9
¥3,080〔税込〕

変若かへる～歌集～

沢口芙美 著
短歌研究社
イギリスに蟬はをりしか朝の森に鳴くを聞きしと思へどおぼろ 「お母さま」と長女はメールに打ちてくる「ママ」と次女は絵文字を入れて 2016～2022 年の 638 首を収めた第 7 歌集。

毎日新聞 2023/11/20

2023:9./ 271p
978-4-86272-749-7
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

栞～句集～

杉山　久子 著
朔出版
ブルーインクの言葉満ちゆく淑気かな 白梅も墓群もながれ去る車窓 月の座のひとりにひとつ金平糖 月天心叱つてくるる子のなくて 金色を抱き木蓮の冬芽あり 2015 年から 2022 年にかけて詠んだ作品を収めた第 4 句集。

毎日新聞 2023/11/20

2023:9./ 233p
978-4-908978-91-3
¥2,860〔税込〕

吉野葛・蘆刈　改版(岩波文庫　緑 55-3)

谷崎　潤一郎 著
岩波書店
終生のテーマである母性思慕の情感が、吉野の風物や伝説と溶けあい、清冽な抒情性をたたえた名作「吉野葛」は、谷崎の「第二の出発点」となったもので、美しい女人への父子二代にわたる男の思慕と愛着の物語「蘆刈」とともに谷崎中期の傑作である。

毎日新聞 2023/11/25

1986:6./ 172p
978-4-00-310553-5
¥528〔税込〕

コンテクスト・マネジメント～個を活かし、経営の質を高める～(至善館講義シリーズ)

野田智義 著
光文社
人と組織の力を最大限に発揮するために、経営者リーダーが果たすべき役割とは何か。コンテクスト・マネジメントを切り口に、過去 50 年間にわたる欧米組織戦略論の知見を概観し統合する。大学院大学至善館の講義を再構成。

毎日新聞 2023/11/25

2023:9./ 421p
978-4-334-10058-2
¥3,520〔税込〕

絵本龍潭譚

泉鏡花 著
国書刊行会
妖怪、美しいお姐さん、神仏、そして暴風雨のスペクタクル…。神秘と蠱惑の桃源魔界を描いた、天才泉鏡花の華麗なる幻想世界に、「龍潭譚を描くためにイラストレーターになったのかもしれない」と語る絵師・中川学が挑む。

毎日新聞 2023/11/25

2023:9./ 95p
978-4-336-07538-3
¥2,750〔税込〕

ジェイムズ・ボールドウィンのアメリカ～「もう一度始める」ための手引き～

エディ・S・グロード・ジュニア 著
白水社
アメリカが建国以来、失望と幻滅を味わい続けてきた人種差別問題の歴史とその本質を、作家ジェイムズ・ボールドウィンの足跡と作品に託して語り尽くした魂の書。

毎日新聞 2023/11/25

2023:9./ 309p
978-4-560-09377-1
¥4,620〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

艶やかに～尾上菊五郎聞き書き～

小玉 祥子 著
毎日新聞出版
歴代名優との共演、女方中心の若手花形から立役への転換、音羽屋の伝統を継承しつつ独自のスタイルを開拓し続ける円熟期…。歌舞伎俳優・尾上菊五郎の芸の神髄に迫る。『毎日新聞』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/11/25

2023:10./ 315p
978-4-620-32792-1
¥3,080〔税込〕

在日という病～生きづらさの当事者研究～

朴 一 著
明石書店
生まれ、結婚、就職、参政権、メディア発信とバッシング…。在日コリアン三世として日本社会や母国で感じた「困り事」や「生きづらさ」、日本社会で体験したエスニック・コンフリクトを赤裸々に記録する。

毎日新聞 2023/11/25

2023:10./ 194p
978-4-7503-5671-6
¥2,420〔税込〕

鉱物のレシピ～鉱物図鑑と結晶づくり～

さとう かよこ 著
玄光社
鉱物偏愛・理科趣味・博物学愛好家のための美しく輝く鉱物・鉱石・結晶の図鑑とレシピ。蛍石・水晶をはじめとした鉱物図鑑と、標本箱のつくりかた、結晶のつくりかた、万華鏡など鉱物を用いた DIY を収録する。

毎日新聞 2023/11/25

2023:7./ 143p
978-4-7683-1806-5
¥2,200〔税込〕

ユリイカ～詩と批評～<第 55 巻第 16 号 12 月臨時増刊号> 総特集坂本龍一 1952-2023

青土社
坂本龍一とはどのような音楽家であったのだろうか、音楽という営為の自律性が起源とともに問い返されることになる。それこそ坂本龍一の問いであったと信じること、出発点はそこにある。われわれはたしかに坂本龍一の時代を生きていた。

毎日新聞 2023/11/25

2023:10./ 349p
978-4-7917-0440-8
¥1,980〔税込〕

人種差別の習慣～人種化された身体の現象学～

ヘレン・ンゴ 著
青土社
誰もが意図せずに行ってしまう/向けられている可能性を孕む「習慣的な人種差別」。メルロ=ポンティの現象学に軸を据えながら、差別する・される身体の多様なあり様を明らかにする。

毎日新聞 2023/11/25

2023:11./ 345p,12p
978-4-7917-7595-8
¥3,080〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

小山さんノート

小山さんノートワークショップ 編
エトセトラブックス
時間の許される限り、私は私自身でありたい-。「小山さん」と呼ばれたホームレス女性が、1991 年から 2004 年までに綴った手記の抜粋と、8 年かけて手記の文字起こしをした女性たちのエッセイを収録する。

毎日新聞 2023/11/25

2023:10./ 286p
978-4-909910-19-6
¥2,640〔税込〕

懐郷

リムイ・アキ 著
田畑書店
貧困、早婚、目を覆うような家庭内暴力と家庭崩壊、旧態依然とした体質の原住民社会…。台湾原住民族の暗い側面を明るみに出し、苦境にあっても屈することなく努力を続けるタイヤル女性を描いた長編小説。

毎日新聞 2023/11/25、東京・中日新聞 2023/11/26

2023:9./ 325p
978-4-8038-0420-1
¥3,080〔税込〕